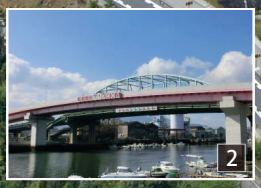
広島県

広島県 道路整備計画 2016

1


2

3

4

5

6

7

8

広島県道路整備計画2016

目　　次

Ⅰ　総論

策定の趣旨 …… 1
計画の位置付け …… 1
計画の概要 …… 2

Ⅱ　前計画の成果の検証

広島県道路整備計画2011の概要と取組成果 …… 4
広島県道路整備計画2011のストック効果（H23～H27） …… 6

Ⅲ　７つの施策の取組方針

施策① 広域的な交流・連携基盤の強化 …… 8
施策② 集客・交流機能の強化 …… 10
施策③ 災害に強い道路ネットワークの構築 …… 12
施策④ 総合的な交通安全対策の推進 …… 14
施策⑤ 持続可能なまちづくりに資する道路整備 …… 16
施策⑥ 道路機能の有効活用 …… 18
施策⑦ 道路施設の適正な維持管理 …… 20

Ⅳ　事業箇所一覧（H28～H32）

県事業 …… 24
国直轄事業 …… 42

表紙写真のご紹介

表紙写真：東広島・呉自動車道（東広島市）
写真1：三原やっさ祭り（三原市）
写真2：新入江大橋（福山市）
写真3：広島高速３号線（広島市）
写真4：道の駅「たかの」（庄原市）
写真5：第二音戸大橋（呉市）
写真6：はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会（廿日市市）
写真7：中国横断自動車道尾道松江線（三次市）
写真8：安芸太田しわいマラソン（安芸太田町）

Ⅰ 総論

策定の趣旨

広島県では，県の総合計画である「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す広島県の将来像を実現するため，社会資本マネジメントの基本方針として策定している「社会資本未来プラン」の道路分野の整備計画として，道路整備計画を策定しています。

広島県道路整備計画 2011 が平成 27 年度で終了すること，また将来を展望する上で特に考慮が必要な情勢変化等を踏まえ「ひろしま未来チャレンジビジョン」と「社会資本未来プラン」が改定されたことから，これら上位計画と整合を図りながら，広島県道路整備計画 2016 を策定するものです。

将来を展望する上で特に考慮が必要な情勢変化

- 人口減少の進行
- 東京一極集中の加速化
- グローバル化新局面の到来
- 安全・安心に対する意識の高まり

ひろしま未来チャレンジビジョン

計画の位置付け

関係計画の体系

ひろしま未来チャレンジビジョン H27.10 改定	本県の目指す姿（将来像）を県民と共有し，一緒に新たな広島県づくりを推し進めるために，未来を展望して策定したビジョン。
社会資本未来プラン H28.3 改定	本県の目指す姿（将来像）を実現するための社会資本マネジメント方針。
広島県道路整備計画 2016 H28.3 策定	社会資本未来プランにおける道路分野の整備計画。

広島県の将来像　ひろしま未来チャレンジビジョン

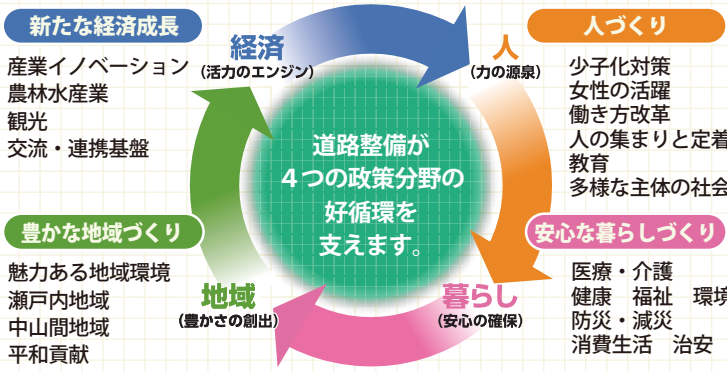
基本理念

将来にわたって，「広島に生まれ，育ち，住み，働いて良かった」と心から思える広島県の実現

目指す姿

仕事でチャレンジ！
暮らしをエンジョイ！
活気あふれる広島県
～仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現～

目指す姿の実現に向けた４つの政策分野と方向性



用語説明

グローバル化…社会的あるいは経済的な関連が，国家や地域などの境界を越えて，世界規模に拡大して様々な変化を引き起こす現象。
中山間地域…地理的・社会的条件などが不利なため，人口減少や高齢化が進行している過疎・離島などの地域。

計画の概要

計画期間	平成 28 年度～ 32 年度 5 年間	投資予定額	概ね 1,700 億円 国直轄事業負担金を含む ※社会情勢等により変動することがあります。

計画の流れ

広島県の将来像

基本理念

将来にわたって，「広島に生まれ，育ち，住み，働いて良かった」と心から思える広島県の実現

ひろしま未来チャレンジビジョン

強みを活かした道路整備の取組方針

広島県の将来像を実現するための社会資本マネジメント方針に基づく道路整備の取組方針の決定

- ●井桁状高速道路ネットワークの活用
- ●７つの施策に基づく取組

本県の目指す姿を実現するため，現状と課題から，次の７つの施策を取組方針とします。

７つの施策

1. 広域的な交流・連携基盤の強化
2. 集客・交流機能の強化
3. 災害に強い道路ネットワークの構築
4. 総合的な交通安全対策の推進
5. 持続可能なまちづくりに資する道路整備
6. 道路機能の有効活用
7. 道路施設の適正な維持管理

社会資本未来プランより作成

選択と集中に基づく箇所の選定

事業箇所選定の視点・評価

- ●将来の広島県広域道路ネットワーク
- ●事業評価（３項目）

道路改良事業 街路事業

将来の広域道路ネットワークを考慮し，今後，対策が必要と考えられる事業箇所について，事業評価を実施しました。

事業評価とは

事業箇所毎に「費用対効果」,「施策貢献度」,「実施環境」の３項目による事業評価を実施し，優先度を決定しています。

事業評価 ― 費用対効果 / 施策貢献度 / 実施環境

評価結果による事業実施箇所の選定

優先度：高 → 低

- 高：事業を優先的に実施（計画期間内の完成を目指す箇所）
- 中：計画的に事業を実施する箇所
- 低：事業未着手箇所

施策貢献度の評価指標

施策項目	評価指標
①広域的な交流・連携基盤の強化	広島市への連絡強化
	広島空港への連絡強化
	新幹線駅への連絡強化
	高速道路ICへの連絡強化
	物流拠点～高速ICへの連絡強化
	産業団地～高速ICへの連絡強化
②集客・交流機能の強化	主要観光地～高速ICへの連絡強化
	観光周遊の促進
③災害に強い道路ネットワークの構築	緊急輸送道路
	異常気象時通行規制区間
	多重型道路ネットワークの形成
④総合的な交通安全対策の推進	事故危険箇所の解消
	通学路の歩道整備
⑤持続可能なまちづくりに資する道路整備	主要渋滞箇所の渋滞緩和
	容量超過交通量
	新市町中心地への連絡強化
	バス路線の1車線区間
	合併建設計画区間
	生活交通路線の整備

交通安全事業

事故危険箇所の対策や通学路交通安全プログラムに基づく整備を基本としています。

補修系事業

修繕方針や施設の点検結果に基づき，緊急性の高い箇所を優先的に整備します。

用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道，山陽自動車道を横軸に，広島自動車道，浜田自動車道，東広島・呉自動車道，中国横断自動車道尾道松江線，西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。
費用対効果…事業の実施によって，評価期間中に発現する様々な効果・影響を貨幣換算し，これを建設費，維持管理費等のコストと比較することにより事業の投資効率性を表したもの。
事故危険箇所…警察庁と国土交通省が合同で死傷事故率が高く，又は死傷事故が多発している交差点や単路部を「事故危険箇所」として平成25年7月に指定。平成28年度に新たな「事故危険箇所」を指定予定。
通学路交通安全プログラム…通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進するため，地域ごとに教育委員会，学校，PTA，警察，道路管理者等により策定される基本方針。

早期効果の発現を重視した予算配分

事業実施箇所の選定（実施計画の作成）

494 箇所 /5 年

5 年間で 363 箇所の完成を目指します

計画に基づく着実な整備の実施

事業の実施

- ●着実な整備による早期効果の発現
- ●コスト縮減を意識した事業の実施
- ●地域と一体となった取組の推進

社会情勢の変化に柔軟に対応

進捗状況の点検・評価

- ●PDCA サイクルの実施
- ●ストック効果の検証

事業実施箇所一覧（平成 28 年 3 月現在）　（単位：箇所）

区分		完成※1	継続※2	合計
改築系	道路改良	69	77	146
	街路	5	7	12
	交通安全	49	47	96
	小計	123	131	254
補修系	橋梁耐震補強	24	0	24
	法面災害防除	216	0	216
	小計	240	0	240
合計		363	131	494

※1 完成：計画期間内に完了する事業。
※2 継続：計画期間後も継続実施する事業。

投資予定額　（単位：億円）

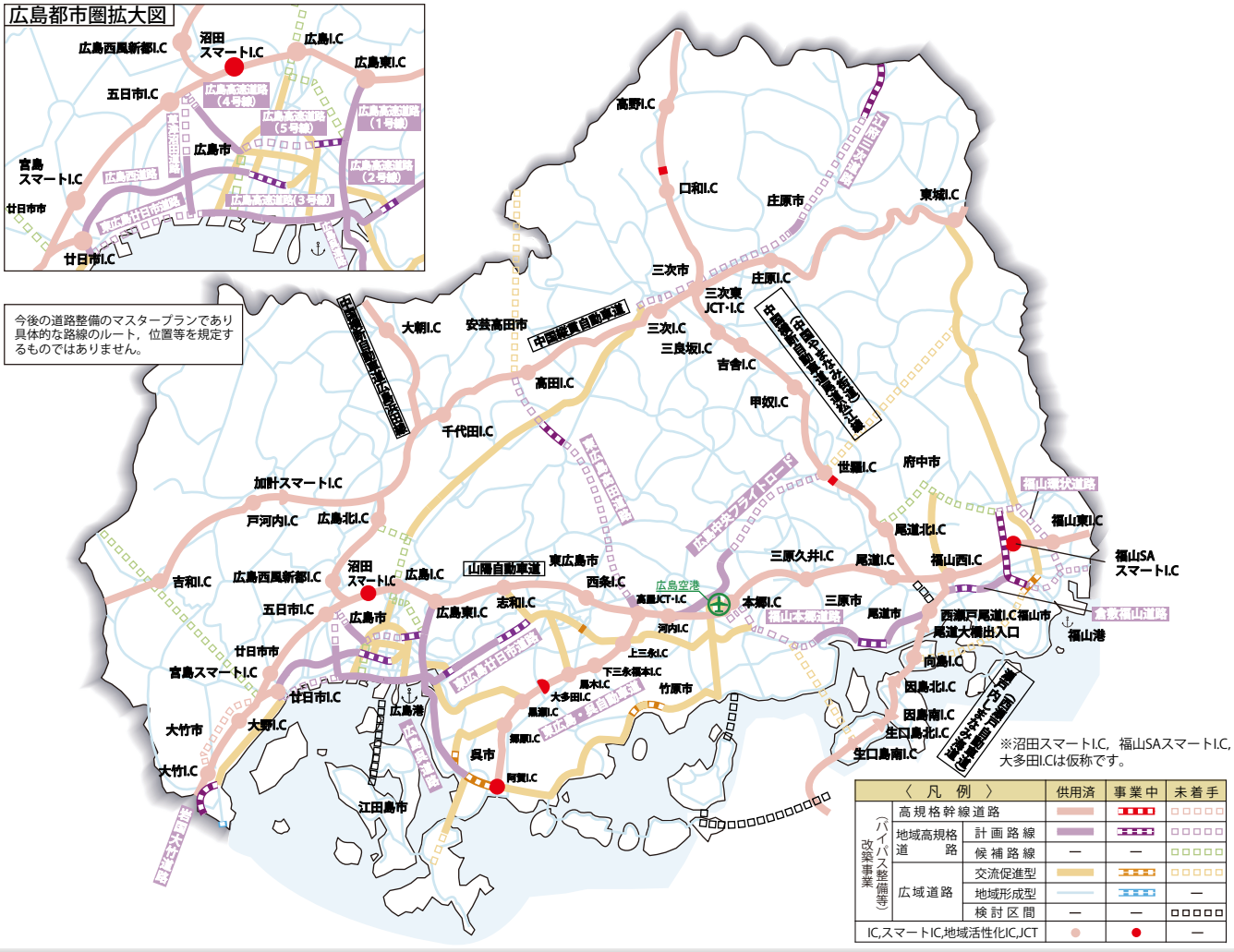
区分	投資予定額
補助公共事業費	700
単独公共事業費	760
国直轄事業負担金	240
合計	1,700

地元市町の意見を尊重

計画の策定にあたり，社会資本整備調整会議を開催し，地元市町の意見を伺いながら，事業実施箇所を選定しています。

社会資本整備調整会議

将来の広島県広域道路ネットワーク



ストック効果 …整備された施設が機能して長期的にその地域の生産性や安全性を高めたり，環境を改善するなどの効果。
PDCAサイクル …計画（plan）→実行（do）→評価（check）→改善（act）という4段階の活動を繰り返し行なうことで，継続的にプロセスを改善していく手法。
高規格幹線道路 …全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。
地域高規格道路 …高規格幹線道路と一体となって，地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進，空港・港湾などの広域交流拠点との連結等に資する路線。

Ⅱ 前計画の成果の検証

■ 広島県道路整備計画2011の概要と取組成果

計画期間　平成23年度から平成27年度までの５年間

計画の体系　次の４つのテーマと６つの施策の柱のもとに，道路を総合的にマネジメントする計画として策定しました。

４つのテーマ	６つの施策の柱	施策の体系
Ⅰ ひと・まちを「つなぐ」みち	ⅰ 広域交通ネットワークの確立	広域的な交流・連携基盤の構築 グローバルゲートウェイへのアクセス強化 物流機能の強化
	ⅱ 集客・交流機能の強化	観光産業への支援
Ⅱ 暮らしを「守る」みち	ⅲ 災害に強い道路ネットワークの構築	安全な道路の整備
	ⅳ 安心できる道路空間の形成	安心な道路の整備 豊かな生活環境の創造
Ⅲ 地域を「支える」みち	ⅴ 地域の自立や活力を支える道路の整備	都市を支える道路の整備 中山間地域を支える道路の整備 合併後のまちづくりを支える道路の整備
Ⅳ 今あるみちを「活かす」	ⅵ 道路機能の有効活用	既存道路の再生改良 戦略的な維持管理への転換 使えるハイウェイ施策の推進 交通需要マネジメントの導入 道路を通じた地域振興の推進

事業実施箇所の進捗状況

●国直轄事業

計画期間内の完成予定箇所については全て計画どおり完成するとともに，他の箇所についても順調に進捗しています。

計画期間内の完成箇所：中国横断自動車道尾道松江線，東広島･呉自動車道，国道２号三原バイパス，国道２号東広島バイパス(瀬野西IC～中野IC)，国道２号西広島バイパス（廿日市高架）

●県事業

【箇所数】

計画は５年間で484箇所を実施し282箇所を完成と位置付けており，実績は計画期間内に計画を上回る292箇所が完了する予定です。

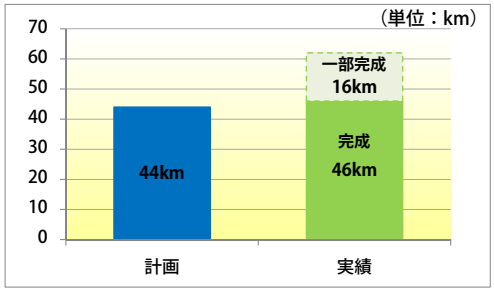
（単位：箇所）

区分		計画（H23－27）			完了
			完成	継続	
改築系	道路改良	198	80	118	80
	街路	18	6	12	7
	交通安全	89	37	52	42
	小計	305	123	182	129
補修系	橋梁補修	146	144	2	146
	災害防除	33	15	18	17
	小計	179	159	20	163
合計		484	282	202	292

【延長（道路改良・街路）】

計画は５年間で道路改良・街路事業の完成延長を約44kmと見込んでおり，実績は計画を若干上回っています。

また，継続箇所においても計画期間内に約16kmを部分完成します。



用語説明

グローバルゲートウェイ …世界各国と多方面，多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際的な規模と機能を有した競争力の高い拠点となる空港・港湾。

交通需要マネジメント …自動車の効率的利用や，公共交通への利用転換，時間や経路の変更などを進めることにより，交通渋滞の緩和を図り，環境の改善や地域の活性化を目指す取組み。

施策目標の達成状況

成果目標の16指標については全て達成します。

テーマ	施策の柱	施策目標	～H27目標	結果	主な完成箇所・取組	整備効果等
ひと・まちを「つなぐ」みち	広域交通ネットワークの確立	①広島市2時間交通圏	555万人	達成見込み	中国横断自動車道尾道松江線 東広島・呉自動車道 広島高速３号線 国道２号三原BP・東広島BP一部・西広島BP（廿日市高架） 国道487号警固屋音戸BP (主)矢野安浦線 (都)神辺水呑線 (都)長江線	〔広域ネットワークの確立〕 ・広島松江高速バス増便 28⇒36便（H24⇒26） ・福山・尾道松江高速バス運行開始（H25） ・吉舎～甲奴間休日交通量 53⇒105百台（H26⇒27） ・エアポートバス呉広島空港線運行開始（H25）増便14⇒18便（H25⇒27） 〔集客・交流機能の強化〕 ・尾道市入込観光客数 552⇒641万人（H19⇒26） ・広島市中心部～宮島口所要時間41⇒35分（H23⇒24）
		②県内80分交通圏	268万人			
		③高速道路IC20分交通圏	276万人			
		④広島空港2時間交通圏	644万人			
		⑤広島空港40分交通圏	79万人			
	集客・交流機能の強化	⑥高速道路ICに20分で到達できる産業団地数	97団地			
		⑦高速道路ICに20分で到達できる主要観光地数	334箇所			
暮らしを「守る」みち	災害に強い道路ネットワークの構築	⑧緊急輸送道路の整備済延長（全154km）	30km		国道185号三原大橋 (主)福山鞆線	
		⑨橋梁耐震補強（落橋・倒壊対策）の完了率 ※	100%			
	安心できる道路空間の形成	⑩二次救急医療15分圏域	265万人		国道375号広 (主)尾道三原線	
		⑪整備の必要な通学路整備済延長（全161km）	36km			
地域を「支える」みち	地域の自立や活力を支える道路の整備	⑫混雑区間（混雑度1.0以上）の緩和箇所	20箇所		国道375号 御薗宇BP (主)三次美土里線 (主)江田島大柿線	
		⑬主要渋滞ポイントの緩和箇所数	15箇所			
		⑭現況１車線バス路線区間整備済延長（全82km）	9km			
		⑮新市町中心地への30分交通圏	222万人			
		⑯合併建設計画区間の改良済箇所	268箇所			
今あるみちを「活かす」	道路機能の有効活用	－	－	－	アセットマネジメントの推進 より利用しやすい有料道路料金体系の導入 ・新たな高速道路料金の導入（H25） ・安芸灘大橋の回数券利用者を対象とした割引拡充（H26） しまなみ海道自転車通行料金の無料化開始（H26） 等	

※緊急輸送道路上で地震の影響を受けやすい橋梁の耐震補強を対象

緊急輸送道路…阪神・淡路大震災を教訓とし，地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として，各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で，役割に応じ，1次から3次までが設定されている。
二次救急医療…入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療。
主要渋滞ポイント…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。平成17年に県内で58箇所が選定されている。
合併建設計画…合併後の市町の基本方針や公共施設の整備などについて定め，将来のビジョンや施策の方向性を示したもの。
アセットマネジメント…公共土木施設を資産（アセット）としてとらえ，将来の施設の状態を予測し，初期建設費用＋維持管理費＋更新費用（ライフサイクルコスト）が最小となる補修工法と補修時期を選定する総合的な管理・運用（マネジメント）方法。

Ⅱ 前計画の成果の検証

■ 広島県道路整備計画2011のストック効果（H23～H27）

尾道松江線，東広島・呉自動車道の全線開通により，井桁状の産業・観光面等，県全域で様々な効果があらわれはじめています。

広域交通ネットワークの確立

移動時間の大幅な短縮

尾道松江線の時間短縮効果

尾道市 ⇔ 松江市：約230分
尾道松江線を利用した場合：約150分（約80分短縮）

広島市 ⇔ 松江市：約220分
尾道松江線を利用した場合：約170分（約50分短縮）

東広島・呉自動車道の時間短縮効果

呉駅 ⇔ 広島空港：一般国道375号を利用した場合 約90分
東広島・呉自動車道を利用した場合：約50分（約40分短縮）

※所要時間は中国地方整備局資料による

尾道松江線（三次東JCT・IC付近）

東広島・呉自動車道（馬木IC付近）

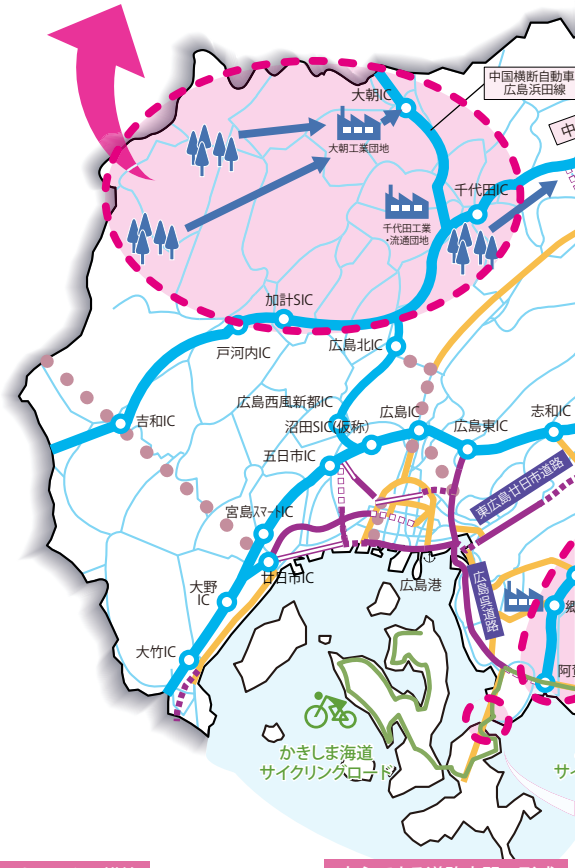
地域の自立や活力を支える道路の整備

中山間地域の地域力強化に貢献

林業団地から木材集荷施設や製材施設へのアクセスを改善することで，効率的な木材流通体制の構築に寄与しています。

木材の運搬

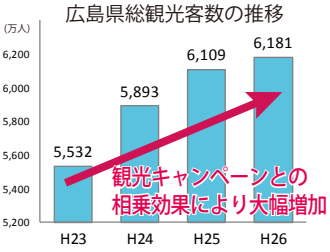
大朝工業団地



集客・交流機能の強化

県内全域で観光客数が増加

広島県総観光客数の推移



●大河ドラマ「平清盛」
●ひろしま菓子博
●広島県デスティネーションキャンペーン
●瀬戸内しまのわ2014
●NHKドラマ「マッサン」

出典：広島県観光客数の動向

H22.3 東広島・呉自動車道（高屋JCT・IC～上三永IC開通）
H24.4 東広島・呉自動車道（阿賀IC～黒瀬IC開通）
H25.3 尾道松江線（三次東JCT・IC～吉田掛合IC開通）
H25.3 国道487号（警固屋音戸バイパス開通）
H26.3 尾道松江線（吉舎IC～三次東JCT・IC開通）

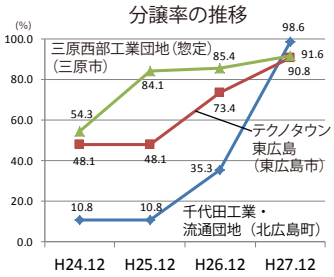
スキー場（中四国一の数）

厳島神社（世界遺産）

広域交通ネットワークの確立

高速道路沿線産業団地の分譲面積の増加

分譲率の推移



三原西部工業団地

千代田工業・流通団地

災害に強い道路ネットワークの構築

土砂災害の円滑な復旧に寄与した高速道路網

平成26年8月20日豪雨災害復旧に，全国各地からの自衛隊や消防等の災害派遣，物資の輸送，土砂搬出等に高速道路網が大きく貢献しました。

15時間通行不可となった第一次緊急輸送道路（R54号）

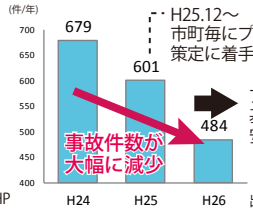
災害派遣（陸上自衛隊）

出典：左 国土交通省HP 右 防衛省HP

安心できる道路空間の形成

通学路交通安全プログラム要対策箇所 子供の交通事故件数の減少

県内における子供の交通事故発生件数の推移



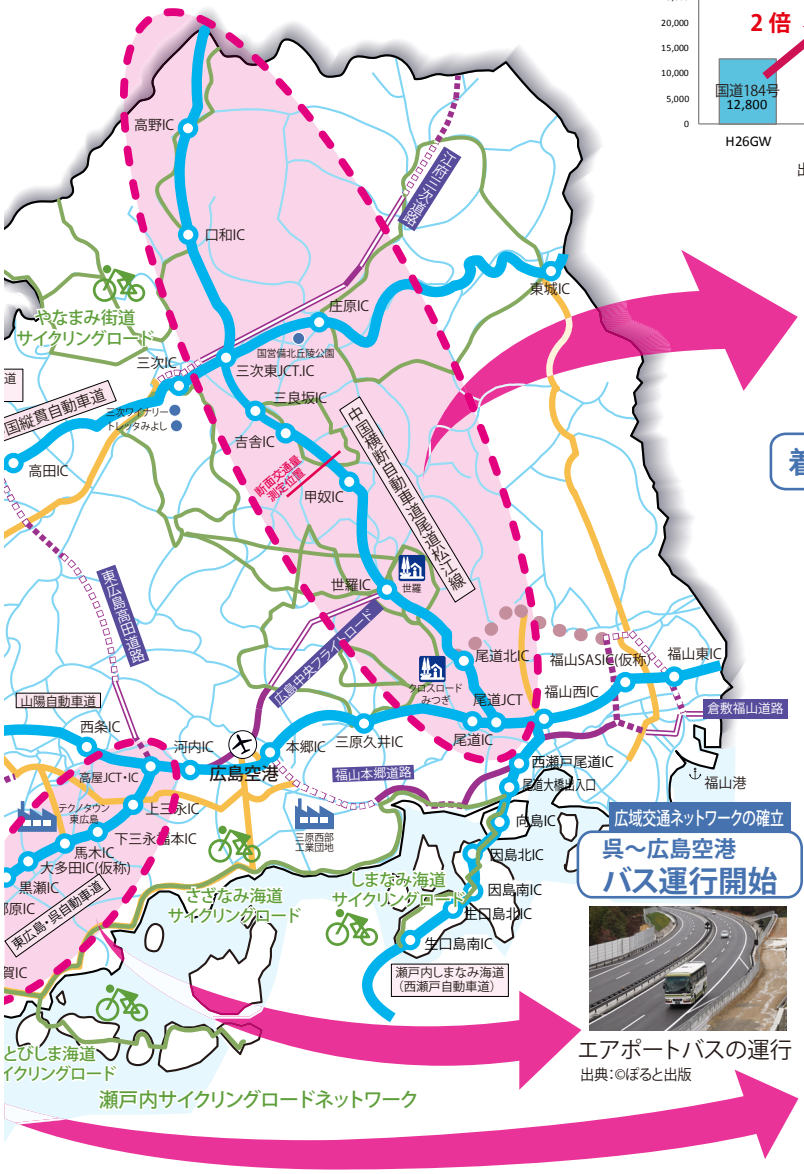
出典：広島県警HP

用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道，山陽自動車道を横軸に，広島自動車道，浜田自動車道，東広島・呉自動車道，中国横断自動車道尾道松江線，西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。

緊急輸送道路…阪神・淡路大震災を教訓とし，地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として，各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で，役割に応じ，1次から3次までが設定されている。

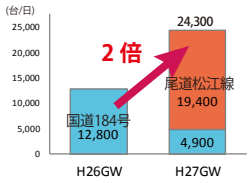
高速道路ネットワークが形成。



集客・交流機能の強化

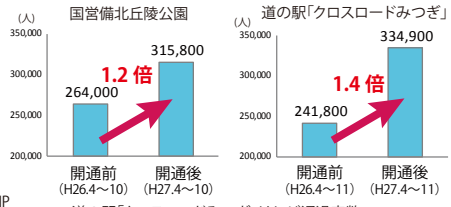
尾道松江線沿線のヒト・モノの交流が活発に

甲奴IC北側断面交通量比較



出典:国土交通省HP

開通前後の総観光客数※比較



※道の駅「クロスロードみつぎ」はレジ通過客数。

沿線に観光施設がオープン!

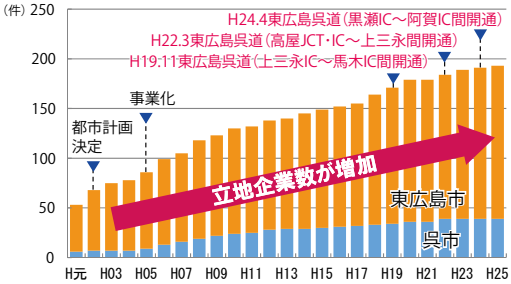
トレッタみよし
H27.3.27オープン

道の駅「世羅」
H27.5.23オープン

広域交通ネットワークの確立

着実に企業立地が進む東広島・呉自動車道沿線地域

東広島・呉自動車道沿線の工業団地の立地企業数の推移



出典：東広島市，呉市提供資料

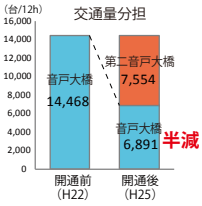
広域交通ネットワークの確立

呉～広島空港 バス運行開始

エアポートバスの運行
出典:©ぽると出版

広域交通ネットワークの確立

渋滞の解消「警固屋音戸BP(第二音戸大橋)」



第二音戸大橋開通前の音戸大橋

第二音戸大橋

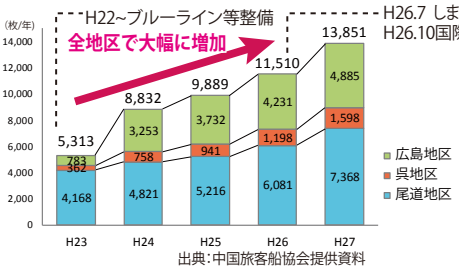
の整備による

歩道整備前後

道路機能の有効活用

サイクリストの聖地へ「瀬戸内サイクリングロードネットワーク」&「やまなみ街道サイクリングロード」

せとうちサイクルーズPASS販売数の推移(4月～11月)



出典:中国旅客船協会提供資料

H26.7 しまなみ海道自転車通行料金無料化
H26.10国際サイクリング大会開催

ブルーラインの整備

国際サイクリング大会(H26)
(しまなみ海道)
出典:サイクリングしまなみ実行委員会

第2回道の駅グルメライド(H27)
(やまなみ街道サイクリングロード)

通学路交通安全プログラム …通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進するため，地域ごとに教育委員会，学校，PTA，警察，道路管理者等により策定される基本方針。
せとうちサイクルーズPASS …サイクリング観光客が，旅客船航路を利用し，エリア内を周遊するための運賃割引カード。
中山間地域 …地理的・社会的条件などが不利なため，人口減少や高齢化が進行している過疎・離島などの地域。
ブルーライン …サイクリングロードの推奨ルートにおいて車道の外側線内側に設置した青色のライン。このラインの設置により，①誰でも迷うことなく目的地までのサイクリングが楽しめる。②自転車利用者に左側走行を促す。③自動車運転者に自転車への注意を促す。といった効果がある。ブルーラインはしまなみ海道サイクリングロードが発祥で，全国のサイクリングロードに広がっている。

施策1 広域的な交流・連携基盤の強化

目指す姿

●人やモノが集まり，国内外との交流が盛んに行われています。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P80）より

道路の役割

●産業集積地や空港・港湾等へのアクセス性を向上し，産業活動や地域間交流を支えます。

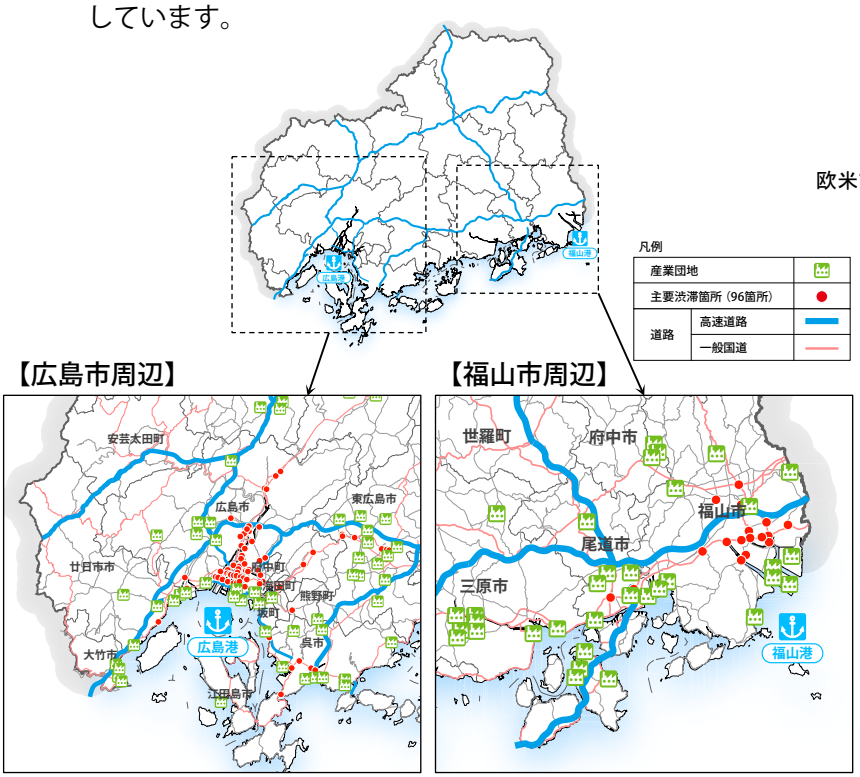
現状と課題

●県境を越える井桁状高速道路ネットワークの形成により，地域間の移動時間が大幅に短縮しています。
●広島空港へのアクセスは高速道路の交通渋滞や通行止めの影響を受けやすい状況にあります。
●本県企業の競争力を向上させるためには，都市部の渋滞を緩和し，広島港・福山港の物流拠点機能の強化を図る必要があります。

県内の渋滞発生の状況

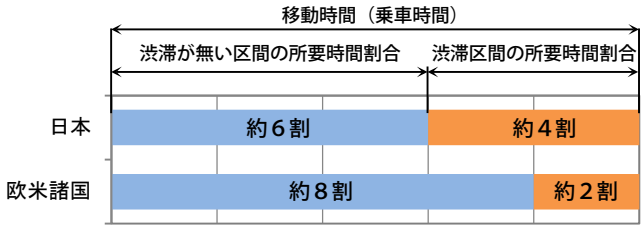
●県内96箇所の主要渋滞箇所

広島市・福山市やその周辺において多くの渋滞が発生しています。



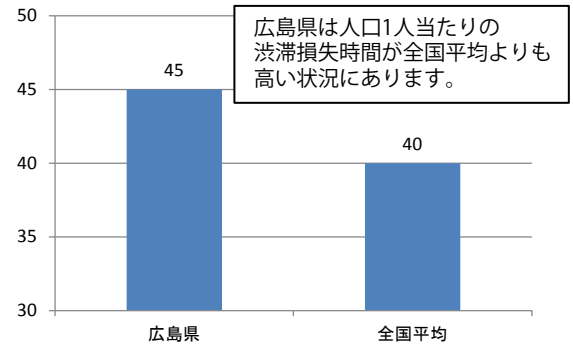
●渋滞損失時間

日本の渋滞損失時間の割合は欧米の先進国の約2倍です。



日本における1人当たりの年間平均乗車時間は約100時間で，そのうち，約40時間を渋滞で損失しています

【1人当たりの年間渋滞時間(H24)】



出典：国土交通省ＨＰより作成

用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道，山陽自動車道を横軸に，広島自動車道，浜田自動車道，東広島・呉自動車道，中国横断自動車道尾道松江線，西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。
主要渋滞箇所…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。平成24年に県内で96箇所が選定されている。
渋滞損失時間…渋滞によって遅れた時間。ある区間を自動車で走行する際に要する基準的な旅行時間（基準旅行時間）から実際の旅行時間を引いた時間（遅れ時間）。

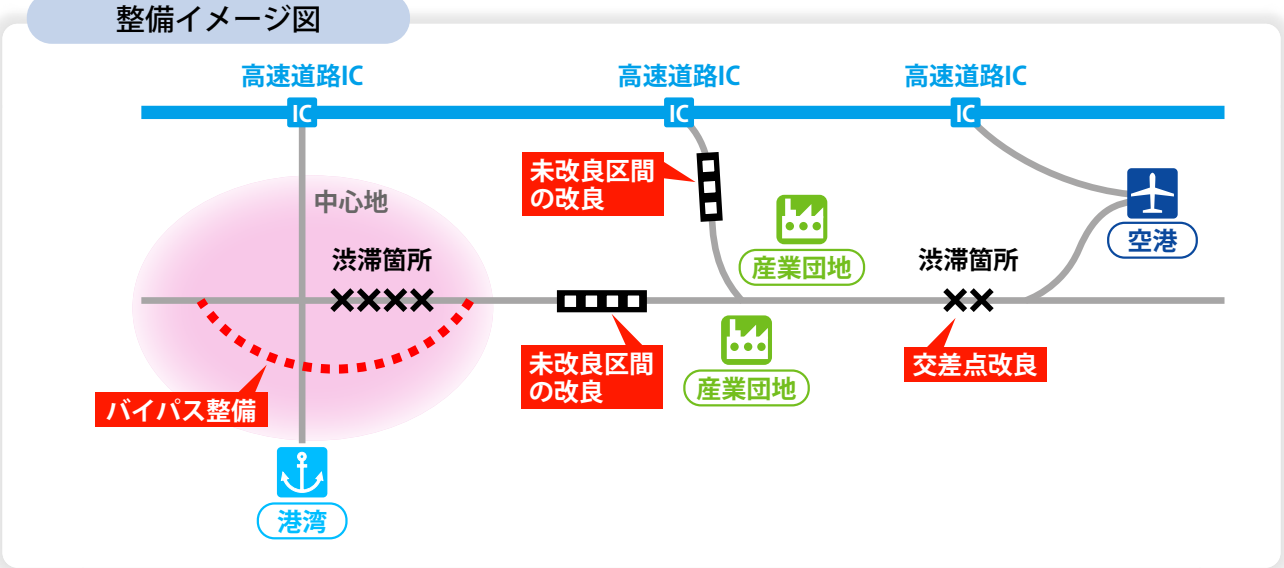
取組の方向

新たな経済成長

■企業活動を支える物流基盤の整備
⇒都市部の渋滞を解消し産業集積地をつなぐ広域交通ネットワークを強化します。

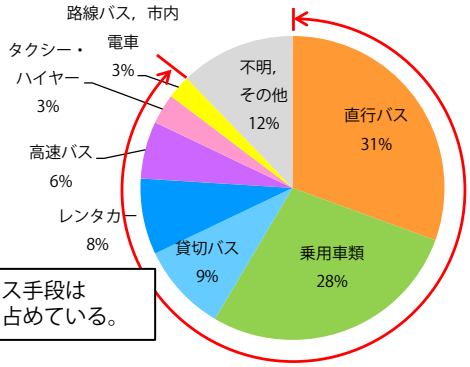
■グローバルゲートウェイ機能の強化
⇒広島空港，広島港，福山港への速達性・定時性の確保と代替性・多重性を強化します。

整備イメージ図



広島空港アクセスの機能強化の重要性

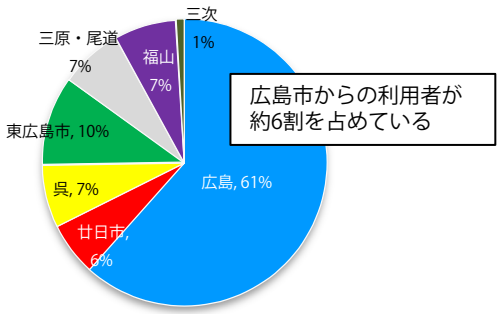
空港アクセスの手段別割合【H25年度】



広島空港へのアクセス手段は道路利用が約９割を占めている。

出典：国土交通省平成25年度航空旅客動態調査より作成

広島空港利用者出発地（国内旅行・県内利用者）



広島市からの利用者が約6割を占めている

出典：平成25年度　広島県空港振興課調査より作成

指標

指　標　名	現　　状	目　　標
全国平均よりも高い渋滞損失時間の減少に努めます。（1年間に約45時間を渋滞で損失しています。）		
１人当たりの年間渋滞損失時間	(H24) 45 時間	(H32) 40 時間
県内の就業者がこの時間短縮効果を享受したとすれば，1年間で県全体で約116億円に該当します。 就業者数134万人×平均時給1,735円×短縮時間5時間＝約116億円/年 ※就業者数は，総務省統計局「国勢調査」，平均時給は厚生労働省「平成25年賃金構造基本統計調査」による		
広島空港への多様なアクセスルートの確保により空港利用者の利便性向上に努めます。		
広島空港利用者数（※1）	(H26) 271.9 万人	(H30) 303.1 万人

※1　ひろしま未来チャレンジビジョンより

産業集積地…産業に関わる企業群が地理的に集積して，一つの産業構造を形成している地域。
グローバルゲートウェイ…世界各国と多方面，多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際的な規模と機能を有した競争力の高い拠点となる空港・港湾。

施策2 集客・交流機能の強化

目指す姿

●広島県が世界に誇れる観光地となり，観光が成長を支える産業の１つとなっています。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P76）より

道路の役割

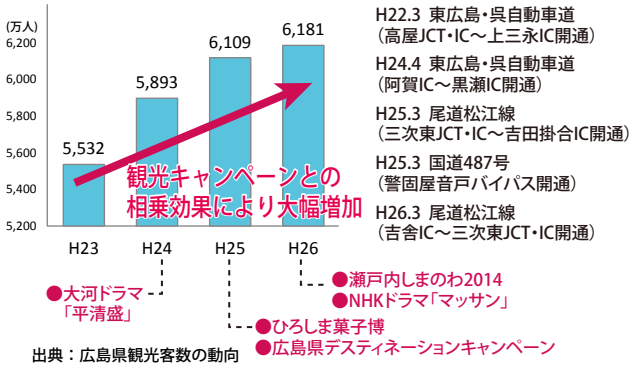
●観光地まで円滑でわかりやすい移動を可能とし，観光周遊を促します。

現状と課題

●県境を越える井桁状高速道路ネットワークの形成により，観光交流人口が大幅に拡大しています。（広島市２時間交通圏人口：555 万人）
●来訪者の満足度を高め，観光客１人当りの訪問地点数を増やすためには，交通移動時の疲労・ストレスの軽減が重要です。

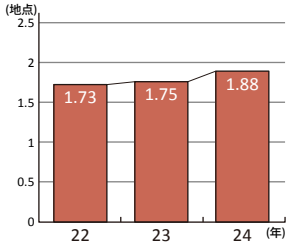
県内全域で観光客数が増加

●広島県総観光客数の推移



出典：広島県観光客数の動向

●観光客1人当たり訪問地点数の推移



出典：広島県観光入込客統計調査（観光地点パラメータ調査）

●来訪者の満足度（宿泊旅行者の満足度ランキング）

順位	都道府県名
1位	沖縄県
2位	京都府
3位	北海道
・	・
・	・
21位	広島県

様々な面で改善が必要

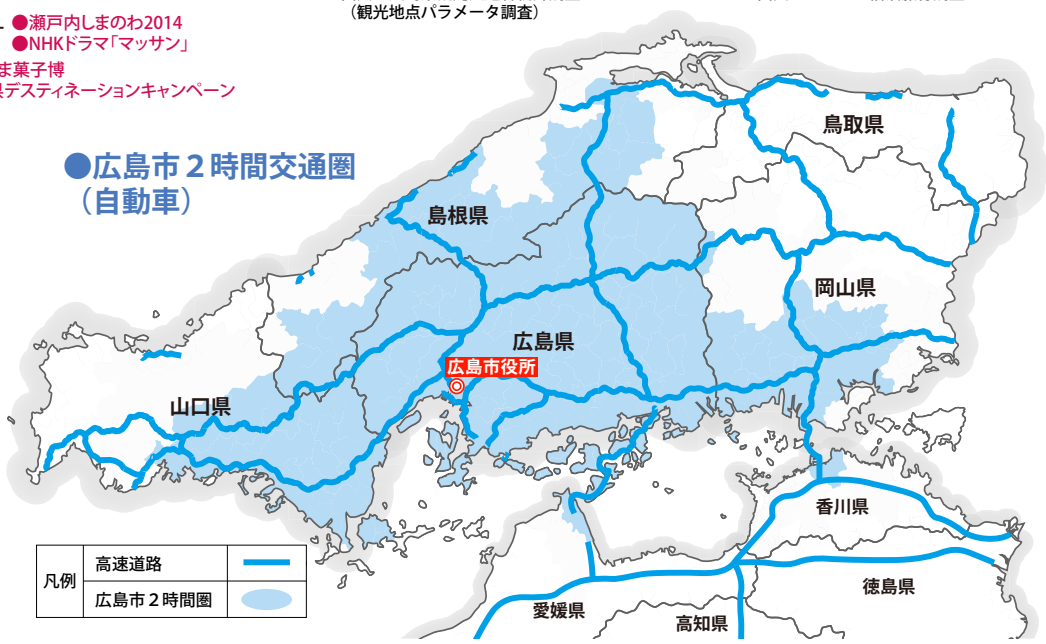
出典：じゃらん宿泊旅行調査2012

●多彩な観光資源

スキー場（中四国一の数）

厳島神社（世界遺産）

●広島市２時間交通圏（自動車）



用語説明

観光交流人口…観光を目的に，県外から訪れる（交流する）人口のこと。
総観光客数…観光地を訪れた県内観光客と県外観光客数の合計（述べ人数）。
井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道，山陽自動車道を横軸に，広島自動車道，浜田自動車道，東広島・呉自動車道，中国横断自動車道尾道松江線，西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。

取組の方向

新たな経済成長

■観光周遊を促す道路ネットワークの形成
⇒高速 IC から観光地までの道路や観光地をネットワーク化する道路の整備を進めます。
⇒移動時間の短縮により観光地での滞在時間を拡大し，来訪者の満足度向上等に寄与します。

観光周遊を促す道路整備の考え方

●井桁状の高速道路ネットワークの活用
●観光地のネットワーク化

道路整備 →

【直接効果】
●移動時間短縮
●周遊ルート多様化
●来訪者の疲労・ストレスの軽減

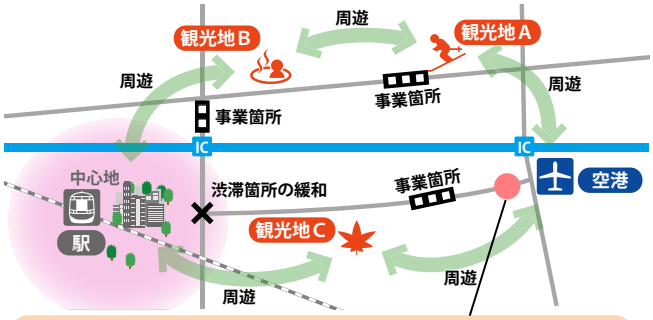
→ 【間接効果】
●滞在時間増加
●訪問地点数増加
●来訪者の来訪意欲向上

→ 【波及効果】
●観光客数増加
●観光消費額増加
●来訪者満足度向上

【観光周遊を促す道路ネットワークの形成】
a：高速ICと観光地をつなぐ道路
b：広島空港や市町中心地と観光地をつなぐ道路
c：隣接し合う観光地をつなぐ道路

※観光地とは拠点的観光施設を有する地域

整備イメージ図



観光地を案内する道路標識整備

道路標識を適切に配置し，観光地までわかりやすく案内します。

拠点的観光施設（116施設+５ルート）

- 通年
  - 重点観光施設
  - ５万人以上の観光施設（道の駅含む）
- 夏期（海水浴場）
- 冬期（スキー場）
- サイクリングロード（５ルート）

指標

指　標　名	現　状	目　標
観光周遊ルートの機能強化により観光産業の確立に寄与します。		
総観光客数（※1）	(H26) 6,181 万人	(H32) 6,500 万人
観光消費額（※1）	(H26) 3,610 億円	(H32) 4,200 億円
来訪者の満足度（※1）	(H26) 66.4 %	(H32) 80 %

※1　ひろしま未来チャレンジビジョンより

観光消費額…観光客が本県において，交通費，宿泊料，みやげ品代，飲食代，入場料などに消費した額。
重点観光施設…市町や観光協会等の関係機関が，重点的に情報発信やブランド力の向上等に取り組む観光施設。

施策3 災害に強い道路ネットワークの構築

目指す姿

●県民みんなで「災害死ゼロ」を目指す取組を進め，災害に強い広島県になっています。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P102）より

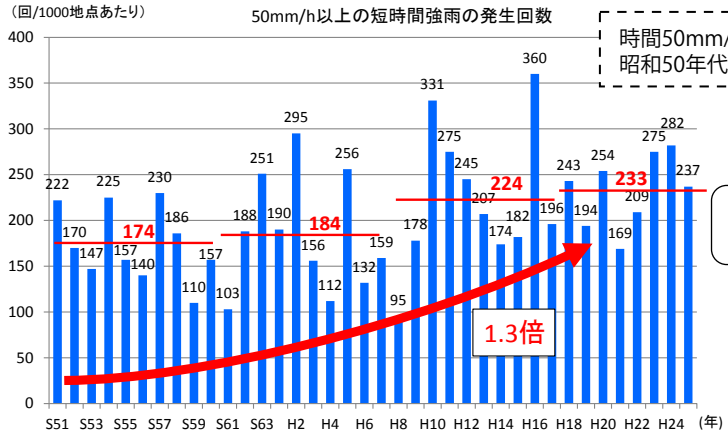
道路の役割

●発災時に被害を最小限に抑え，迅速な救命活動や円滑な復旧・復興活動を支えます。

現状と課題

●緊急輸送道路上で地震の影響を受けやすい橋梁の耐震補強（落橋・倒壊対策）が完了するなど，本県における防災減災対策は着実に進んでいます。
●大規模地震や集中豪雨による災害リスクが高まっており，孤立集落対策の重要性が増しています。

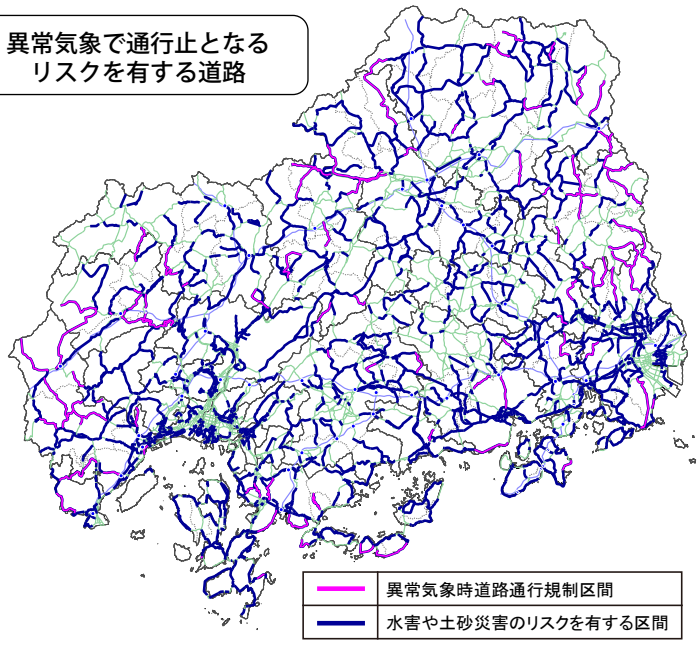
水害や土砂災害のリスクの高まり



時間50mm/h以上の短時間強雨の発生件数は，昭和50年代に比べて，平成20年代は約1.3倍に増加

出典：気象庁HPより作成

異常気象で通行止となるリスクを有する道路



平成26年8月20日豪雨災害の際に土砂が流出し，第一次緊急輸送道路である国道54号が15時間通行止となりました。

本県の異常気象時通行規制区間延長
（平成27年4月1日現在）

道路種別	延長
一般国道	94.5km
主要地方道	83.6km
一般県道	402.4km
合計	580.5km

広島県では，社会資本未来プランに基づき道路・河川・砂防など様々な事業により，ハード・ソフト一体となった防災・減災対策を推進しています。
道路分野では，緊急輸送道路を中心としたハード対策を進めるとともに，過去の災害履歴等を踏まえ，関係機関が連携し危険性が高い区間を事前通行規制区間とする等のソフト対策を行っています。

用語説明

水害や土砂災害のリスクを有する区間…異常気象時に土砂災害（がけ崩れや土石流，地すべり）や洪水，高潮が発生した場合，その影響が及ぶと想定される範囲に含まれる道路の区間。
緊急輸送道路…阪神・淡路大震災を教訓とし，地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として，各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で，役割に応じ，1次から3次までが設定されている。

取組の方向

■緊急輸送道路ネットワークの機能強化
⇒発災時にも迅速・適切な初動対応を可能とするため，緊急輸送道路の機能強化を図ります。

■災害対応能力の向上に資する多重型道路ネットワークの形成
⇒発災時にも地域の孤立化を防ぎ，日常生活や社会経済活動への影響を最小限に抑える多重型道路ネットワークの強化に努めます。

災害に強い道路ネットワークの構築（整備イメージ）

●法面対策の実施

法面 9,171 箇所を点検・評価し，550 箇所を要対策箇所と位置付け重点的に対策を推進しています。また，防災ドクター制度を活用し，きめ細やかな診断に基づき迅速な対策を行っています。

法面災害防除工事例（落石防止）

H25・H27道路法面点検の結果

対策区分	箇所数
要対策	550箇所
経過観察	6, 083箇所
対策不要	2, 538箇所
合計	9, 171箇所

・定期点検を5年に1回実施します。
・要対策，経過観察箇所については，日常の管理において重点的に目視点検を行います。

●道路改良による防災対策

バイパス整備等の改良工事により，落石や崩壊等のリスクを回避し，災害対応能力の向上に資するとともに，将来的な維持管理費の低減によるコスト縮減にも努めています。

道路改良工事例（バイパス整備）

●橋梁の耐震補強の実施

今後想定される大規模地震に対し，落橋などの致命的な被害を防ぐとともに主要な道路においては地震後も物資の輸送等が速やかに行えるよう耐震化を推進しています。

橋梁耐震工事例(落橋防止)

a　緊急輸送道路の機能強化を図るため，緊急輸送道路の道路改良や法面対策工事等を推進します。

b　多重型道路ネットワークの機能強化
災害発生時の市町の孤立を防ぎます。

c　災害発生時，病院へ救急搬送するルートを確保するため，道路ネットワークの強化を図ります。

指標

安心して暮らせる広島県の実現に寄与します。

指標名	現状	目標
緊急輸送道路の橋梁耐震化率(※1) (地震により落橋・倒壊が発生しないレベルの対策)	(H27) 79.6 %	(H32) 83 %
法面災害防除対策箇所数 (平成25年度及び平成27年度の点検により対策が必要とされた550箇所)	(H27) 14 箇所（3%）	(H32) 230 箇所（42%）

※1　社会資本未来プランより

多重型道路ネットワーク…大規模災害等により道路が寸断された場合でも，社会・経済活動への影響を最小限にとどめるよう代替経路の確保を目的とした道路ネットワーク。
防災ドクター制度…道路施設等の点検・補修・補強，防災対策，及び災害復旧等の実施に際し，地域事情に詳しい学識経験者から専門的立場で技術的助言を得て，より適切な対策の推進を図る制度。
災害拠点病院…広島県では，平成24（2012）年4月現在，災害拠点病院として，基幹災害拠点病院を1か所，地域災害拠点病院を17か所指定している。

施策4 総合的な交通安全対策の推進

目指す姿

●安心して暮らしやすく，子供と子育てにやさしい生活環境が整っています。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P38）より

道路の役割

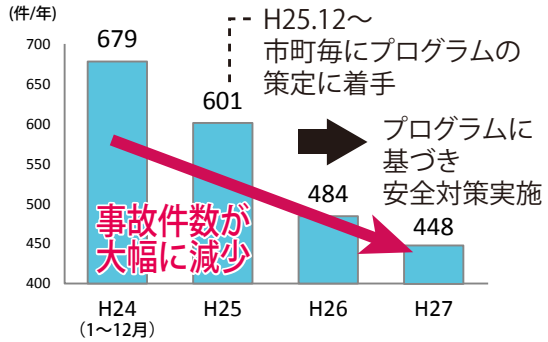
●人や車が安全で快適に移動できる空間を確保します。

現状と課題

●道路整備や様々な交通安全対策の推進により，着実に交通事故が減少しています。
●登下校中の児童の安全確保や事故危険箇所への緊急的・集中的な対策が求められています。

交通事故状況

●子供の交通事故件数



出典：広島県警ＨＰより作成

●事故危険箇所（県管理道路）

※事故危険箇所の全体箇所数については，
変更が生じる場合があります。

●全国平均を下回る一般県道の歩道設置率

（単位：%）

区分		全国	広島県	順位
歩道設置率	一般国道指定区間	67.0%	62.5%	39
	一般国道指定区間外	55.2%	63.3%	13
	主要地方道	46.8%	52.0%	13
	一般県道	33.0%	27.3%	29

歩道設置率＝歩道設置道路実延長÷実延長

出典：道路統計年報2015（平成26年4月1日時点）より作成

国土交通省が策定した第4次社会資本整備重点計画（H27～H32）において，幹線道路で事故の危険性が高い箇所に対する重点的な交通事故抑止対策を推進することとしており，国土交通省と警察庁が合同で「事故危険箇所」を指定し，重点的に取り組むこととしている。

用語説明

通学路交通安全プログラム…通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進するため，地域ごとに教育委員会，学校，PTA，警察，道路管理者等により策定される基本方針。
事故危険箇所…警察庁と国土交通省が合同で死傷事故率が高く，又は死傷事故が多発している交差点や単路部を「事故危険箇所」として平成25年7月に指定。平成28年度に新たな「事故危険箇所」指定予定。

取組の方向

■通学路における交通安全対策の推進
⇒「通学路交通安全プログラム」に基づき，通学路における歩道整備等の安全対策を実施します。

■交通事故危険箇所の対策
⇒死傷事故が多発している事故危険箇所について，事故要因を分析し地域の実情に沿った適切な対策を進めます。

通学路における主な安全対策

歩道整備

○歩道の設置

歩道がなく
大型車通行時に危険

歩行空間が確保され
通学が安全に

限られた用地内での通行帯整備

○側溝の蓋掛けとカラー舗装の整備

傾斜のある側溝の上を
歩くため通学時に危険

歩行空間が確保され
通学が安全に

通学路の安全対策については，教育委員会，警察等と連携し，点検による危険箇所の抽出，対策の検討，実施，効果の把握，改善・充実（PDCA）を繰り返すことにより，継続的な安全性の向上を図ります。

事故危険箇所の主な安全対策

車両の速度を抑制する事故対策の実施

○急カーブへの滑り止めカラー舗装の整備

下りの急カーブで
事故が多発

車両速度が抑制され
事故が減少

車の安全な誘導対策の実施

○車の誘導のための道路標示の設置

右左折時・出会頭・横断
歩道歩行中の事故が多発

適切な車の誘導により
事故が減少

指標

交通事故のない日本一安全で安心な広島県を目指します。

指　標　名	現　　状	目　　標
通学路交通安全プログラムに基づく危険箇所の歩道設置箇所数※1（全体116箇所）	(H27) 5 箇所	(H32) 51 箇所
県管理道路の事故危険箇所の対策率（全体90箇所※2）	(H27) 68 %	(H32) 100 %

※1　計画期間内の事業着手が難しい箇所については，防護柵設置等の短期対策を実施し，安全度の向上に努めます。
※2　事故危険箇所の全体箇所数については，変更が生じる場合があります。

施策5 持続可能なまちづくりに資する道路整備

目指す姿

●都市部と中山間地域のそれぞれの特性や強みを生かし，住みやすく個性ある豊かな地域になっています。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P115）より

道路の役割

●通勤・通学や買い物，通院など日常生活を支えています。
●地域と拠点間の円滑な移動を支え，都市的機能の享受を可能とします。

現状と課題

●井桁状高速道路ネットワークの形成により移動時間が大幅に短縮され，県内全域から概ね２時間以内で広島市へのアクセスが可能となっています。
●都市部では慢性的な渋滞により，公共交通機関の定時性確保や騒音・振動・温室効果ガスへの対策が求められています。
●中山間地域では，バス路線など日常生活を支える道路においても狭隘区間が存在します。

都市部と中山間地域の課題

●都市部の渋滞

路線バスのルート上に
96箇所の主要渋滞箇所があります。

【海田町】

国道2号（海田大正交差点）

【福山市】

(主)福山沼隈線（洗谷交差点）

バスが未改良区間を運行している延長は約56km。

●中山間地域のバス離合困難

【三次市作木町】

国道375号

【呉市倉橋町】

(主)音戸倉橋線

用語説明

中山間地域…地理的・社会的条件などが不利なため，人口減少や高齢化が進行している過疎・離島などの地域。
生活交通…通勤・通学・通院・買物など，日常生活に必要不可欠な交通。
都市的機能（サービス）…文化，教育，スポーツ，医療・福祉，商業，レジャーなど住民生活に関連する多様なサービス。
主要渋滞箇所…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。平成24年に県内で96箇所が選定されている。

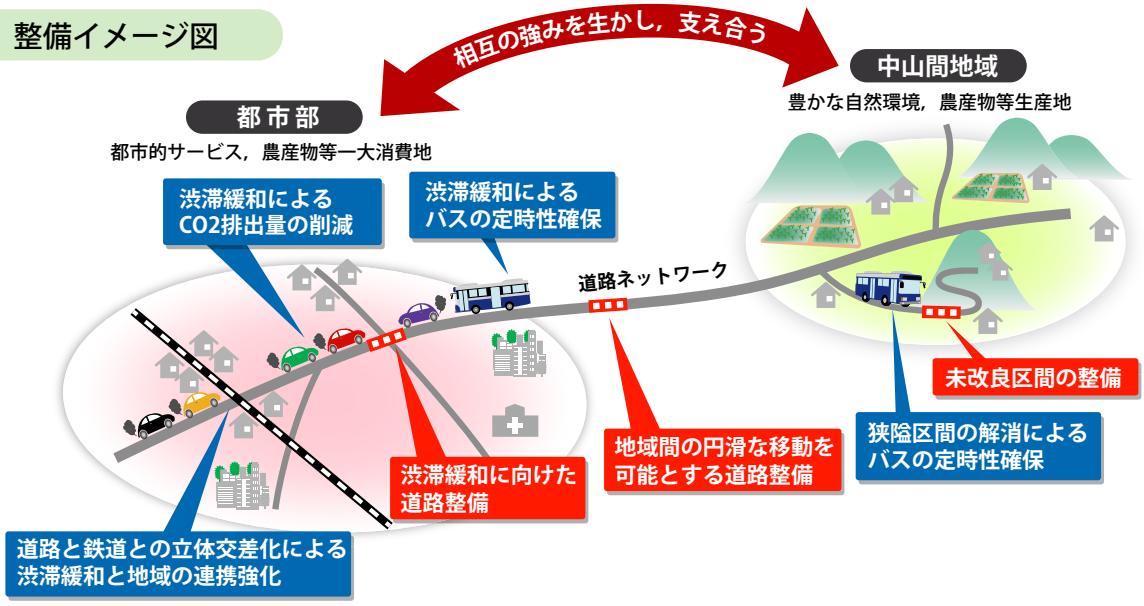
取組の方向

豊かな地域づくり

■渋滞を緩和する道路の整備と市街地を一体化する鉄道との立体交差化
⇒主要渋滞箇所等の対策を進め，円滑な交通と良好な住環境を創出します。

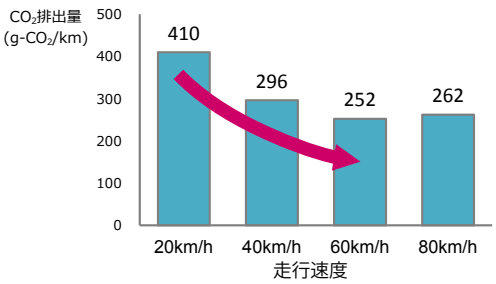
■豊かな地域づくりを支える道路の整備
⇒魅力ある地域環境の創出を目指し，道路整備により地域課題の解決に貢献します。

整備イメージ図



連続立体交差化のイメージ

渋滞緩和とCO_2 削減の関係



出典：国土交通省ＨＰより作成

道路整備による渋滞緩和
↓
渋滞が緩和されることで
走行速度が高くなる
↓
走行速度が上がることで，
CO_2排出量が減少
↓
地球温暖化防止に貢献

指標

地域課題を解決し豊かな地域づくりに貢献します。

指　標　名	現　　状	目　　標
広島県における自動車のＣO_2排出量	(H27) 4,464 千ﾄﾝ(CO_2換算)	(H32) 4,460 千ﾄﾝ(CO_2換算)
現況1車線バス路線区間延長（交通量500台/日以上）	(H27) 39 km	(H32) 36 km
合併建設計画区間の改良済箇所（全体443箇所）	(H27) 268 箇所	(H32) 308 箇所

合併建設計画…合併後の市町の基本方針や公共施設の整備などについて定め，将来のビジョンや施策の方向性を示したもの。

施策6 道路機能の有効活用

目指す姿

●地域の特性を生かした魅力ある地域環境を創出します。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P115）より

道路の役割

●これまでに蓄積された道路の潜在機能を最大限発揮し，地域の多様なニーズに迅速に応えます。

現状と課題

●サイクリングロードや道の駅が観光分野にも好影響を及ぼしています。
●交通量が少ない未改良区間については，小規模な改良等で課題を解決する工夫が必要となっています。
●本県の強みである井桁状高速道路ネットワークを賢く使い，潜在機能を最大限活用することが重要です。

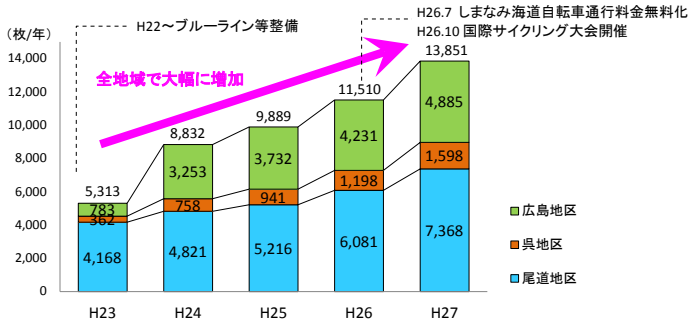
既存道路をサイクリングロードとして活用

しまなみ海道サイクリングロードを中心に
県内各地でサイクリングが盛んに行われています。

県内各地でイベントの開催
（やまなみ街道サイクリングロード）

ブルーラインの整備により
ノーマップサイクリングが可能に
（しまなみ海道サイクリングロード）

せとうちサイクルーズPASS販売数の推移（4月～11月）



出典：中国旅客船協会提供資料より作成

道の駅における賑わいの創出

地方創生に向け道の駅を活用した様々な取組が行われています。

県内に設置されている道の駅（18箇所）

地元高校生が考案したご当地ヒーローによる
地域振興（道の駅　クロスロードみつぎ）

中国やまなみ街道周辺の道の駅が
連携し，大盛況！！（紙屋町シャレオ）

用語説明

井桁状高速道路ネットワーク…中国縦貫自動車道，山陽自動車道を横軸に，広島自動車道，浜田自動車道，東広島・呉自動車道，中国横断自動車道尾道松江線，西瀬戸自動車道を縦軸に形成される広域にまたがる高速道路ネットワーク。
せとうちサイクルーズPASS…サイクリング観光客が，旅客船航路を利用し，エリア内を周遊するための運賃割引カード。
ブルーライン…サイクリングロードの推奨ルートにおいて車道の外側線内側に設置した青色のライン。このラインの設置により，①誰でも迷うことなく目的地までのサイクリングが楽しめる。②自転車利用者に左側走行を促す。③自動車運転者に自転車への注意を促す。といった効果がある。ブルーラインはしまなみ海道サイクリングロードが発祥で，全国のサイクリングロードに広がっている。

取組の方向

■小規模な改良による既存道路の有効活用
⇒地域ニーズに対応した小規模改良等により，日常生活の利便性向上と早期の効果発現に努めます。

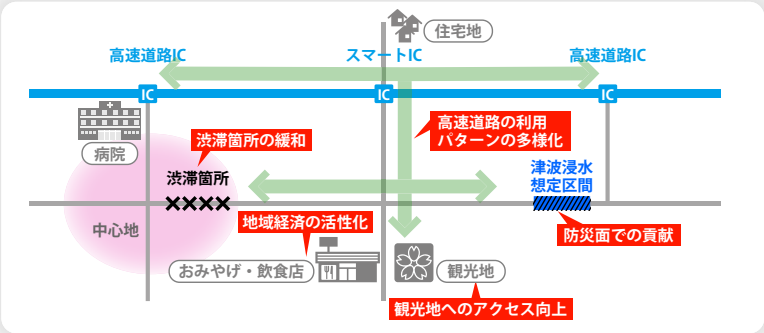
■スマート IC の整備等による高速道路の有効活用
⇒高速道路ネットワークを有効活用するため，スマート IC や付加車線の整備等に関する取組を進めます。

■しまなみを核としたサイクリングネットワークの形成とサイクリストの受入環境向上
⇒地域と一体となって様々なハード・ソフト対策を推進します。

■道の駅を活用した地方創生の取組
⇒道の駅の整備や効果的なイベントの開催等により，地域の魅力を発信していきます。

スマートICの整備による高速道路の利用促進

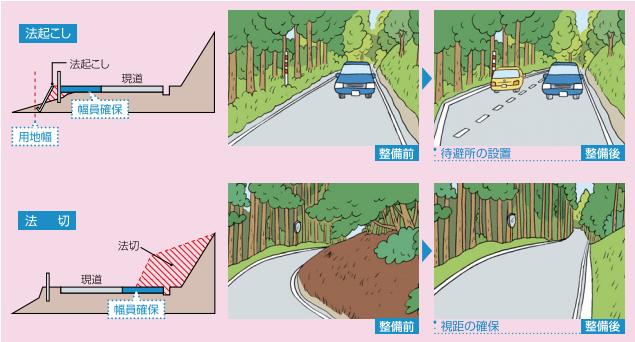
スマートICの整備により，
様々な効果が期待されます。
・周辺住民の利便性向上
・周辺地域の観光振興
・救急医療活動
・産業活動の活性化　など



日本の高速道路におけるIC設置間隔は平均で約10kmと，欧州諸国に比べ約2倍となっています。
広島県におけるIC設置間隔も約10kmとなっています。

小規模な改良による既存道路の有効活用

新設と維持修繕の中間的な位置付けである「再生改良」という考え方を導入し，
当面の交通課題が解消できる程度の局部的な改良等により，早期効果の発現が期待されます。



再生改良事業の事例

待避所の設置により，容易に離合ができます。

指標

指　標　名	現　　状	目　　標
多面的な利用を促し地方創生に寄与していきます。		
しまなみ海道サイクリング来訪客数	(H26) 約25 万人	(H32) 約35 万人
高速道路をより使いやすくします。		
高速道路におけるIC及び スマートIC，地域活性化ICの設置間隔	(H27) 10.0 km	(H32) 9.4 km

スマートIC…高速道路の本線やサービスエリア，パーキングエリア，バスストップから乗り降りができるように設置されるETC 搭載車専用のインターチェンジ。

施策7 道路施設の適正な維持管理

目指す姿

●県民が道路を安心して利用し，安全で快適な日常生活を送っています。

ひろしま未来チャレンジビジョン（P102）より

道路の役割

●日常生活と社会経済活動に不可欠な施設であり，適切に維持管理し現在の機能を低コストで長期にわたり発揮していきます。

現状と課題

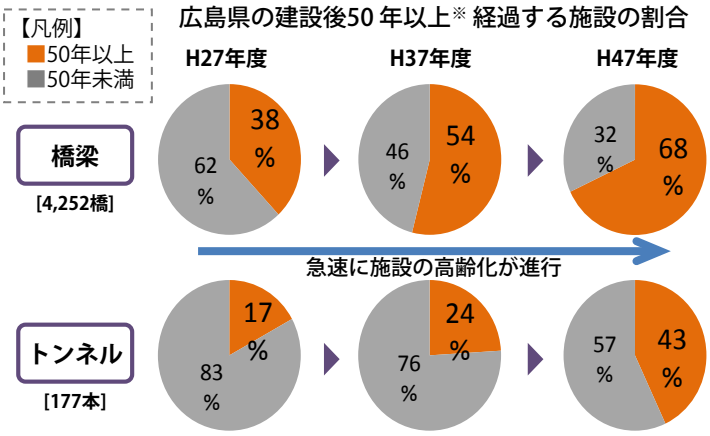
●これまでの着実な取組により，本県の道路整備は一定の水準に達しています。
●道路施設は膨大であり，その多くが高度経済成長期に建設され，急速に高齢化が進行しています。
●限られた財源の中で，既存の道路を良好な状態で長期的に活用するために，計画的なメンテナンスが重要です。

管理施設の状況 （平成27年12月現在）

主要な施設	管理数	備　考
道路延長	4,176km	国道994km，県道3,182km
橋　梁	4,252橋	内，15m以上の橋1,313橋
トンネル	177本	トンネル155本，洞門22本
舗　装	3,809万㎡	
法　面	9,171箇所	自然斜面，人工斜面
附属物	28,530基	案内標識，照明など

道路施設の老朽化

広島県の建設後50年以上※経過する施設の割合

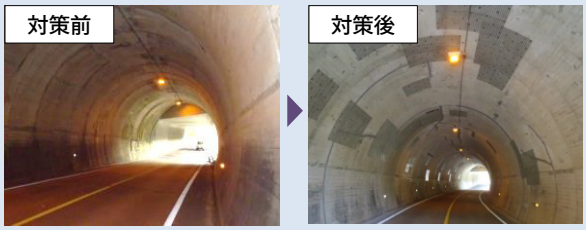


老朽化対策の事例

橋　梁

塗装の劣化　　塗装の塗り替え

トンネル



コンクリート剥落の恐れ　　剥落防止シートの設置

※一般的に建設後５０年を超えると，大規模な修繕工事や更新が必要となります。

用語説明

インフラ…特定の人のものではなく，全ての住民の生活を支える基盤として適切な維持，円滑な運営が求められるものの総称。
インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み…広島県の公共土木施設の維持管理・更新を計画的に進めるため，長期的な修繕費を試算するとともに，今後の取組を取りまとめたもの。平成26年9月策定。

取組の方向

■道路施設の日常的な維持管理の適切な実施
⇒草刈や除雪などの日常的な維持管理を適切に実施し，地域住民の生活を守ります。
⇒アダプト活動等により，道路への愛着心の醸成や地域全体での道路空間の保全と創造を図ります。

■道路施設の戦略的な維持管理の推進～インフラ老朽化対策の本格実施～
⇒道路維持管理システムを活用し，「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」，「修繕方針」に基づき，戦略的な維持管理・更新を行います。
⇒橋梁・トンネル等の近接目視による定期点検や健全度の判定，点検・診断結果に基づいた措置を実施する等，メンテナンスサイクルを確立します。
⇒国，市町と連携した『広島県道路メンテナンス会議』を通じて，予算・体制・技術支援など，メンテナンスサイクルを持続的に回す仕組みを構築し，効率的・効果的な老朽化対策に取組みます。

道路施設の戦略的な維持管理

日常的な維持管理情報（維持管理データ）
- 県民からの要望
- 維持修繕履歴
- 被災履歴
- 各種施設台帳

道路維持管理システム（PDCAサイクルの構築）
様々な維持管理情報を一元的に管理・分析し，戦略的・効果的に維持管理を行います。

計画的な維持管理情報（アセットマネジメントシステム）
- 施設の諸元
- 点検計画，点検結果
- 補修計画，補修履歴

●日常的な維持管理の適切な実施

道路の草刈や除雪等を実施するとともに，日々の道路パトロール等により，穴ぼこ，倒木，落石等の異常を早期に把握し，適切な維持管理を実施します。

日々の道路パトロール
（発見した穴の舗装補修状況）

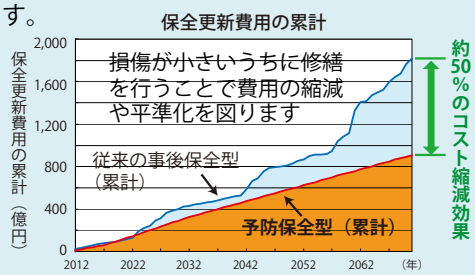
冬期交通の安全確保
（住民の生活を守る除雪作業）

地域でのアダプト活動
（地域共同での道路除草）

●アセットマネジメントによる計画的な維持管理の推進

橋梁，トンネル，舗装，法面について，アセットマネジメントにより，定期点検を実施し，適切な時期に修繕することで，ライフサイクルコストの低減を図り，計画的な維持管理を推進します。

橋梁の点検状況



指標

暮らしの身近な道路を守り，後世に残します。

指標名	現状	目標
橋梁施設数に対する健全度Ⅰ,Ⅱ※の占める割合	(H26) 87.9 %	(H35) 100 %
トンネル施設数に対する健全度Ⅰ,Ⅱ※の占める割合	(H26) 68.8 %	(H30) 100 %

※健全度Ⅰは健全な状態，健全度Ⅱは直ちに補修を必要としない状態。

修繕方針…「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」に基づいて，個々の施設を適切に修繕するため，施設分類毎に具体的な修繕方針を取りまとめたもの。
アダプト活動…住民団体・学校・企業など地域の方々が，ボランティアで道路・河川の美化・清掃などに取り組む活動。
健全度…施設の健全性の診断を4段階で行ったもの（Ⅰ健全,Ⅱ予防保全段階,Ⅲ早期措置段階,Ⅳ緊急措置段階）。
アセットマネジメント…公共土木施設を資産（アセット）としてとらえ，将来の施設の状態を予測し，初期建設費用＋維持管理費＋更新費用（ライフサイクルコスト）が最小となる補修工法と補修時期を選定する総合的な管理・運用（マネジメント）方法。
広島県道路メンテナンス会議…道路管理者が相互に連絡・調整・協力・情報共有・情報発信等を図り，道路施設の点検，修繕計画等の把握調整や技術的支援等により，道路施設の予防保全や老朽化対策の強化を図ることを目的に設立した会議。

Ⅲ 7つの施策の取組方針

7つの施策に取組んで

「仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現」に貢献します！

わたしたちは道路整備に色々なことを期待しています。

用語説明

広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動…「災害に強い広島県」の実現を目指し，県民の皆様や自主防災組織などの地域で活動されている皆様が，災害から命を守るために適切に行動することができるよう県民，自主防災組織など，事業者，行政などが一体となって，災害時の被害をできる限り軽減する減災に取り組む運動のこと。

アダプト活動…住民団体・学校・企業など地域の方々が，ボランティアで道路・河川の美化・清掃などに取り組む活動。

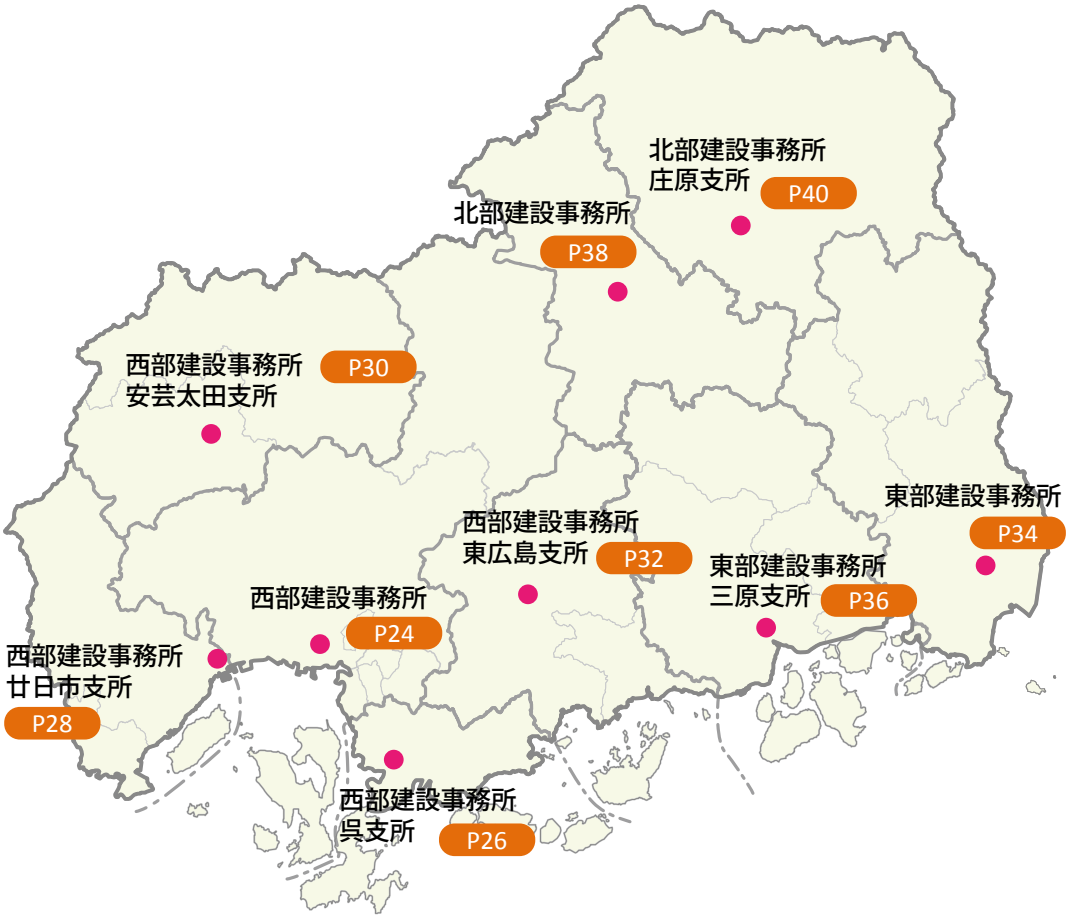
Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

■ 県事業

1　事業箇所は，計画期間内（H28～H32）に実施する改築系・補修系事業（日常の維持管理業務等を除く）について，社会資本整備調整会議を開催し，地元市町の意見を伺いながら選定しています。

2　事業箇所一覧に記載していない箇所を実施する場合は，計画を変更した上で対応する必要があります。

3　但し，災害や点検の結果等により，緊急的な対応が必要となった場合には，この事業箇所一覧以外の箇所であっても柔軟に対応します。



■ 国直轄事業 P42

主に改築系事業と交通安全事業の事業中箇所について，まとめたものです。

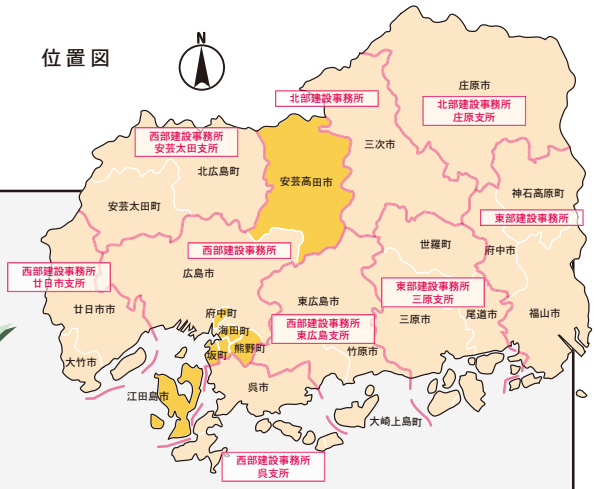
Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

■ 県事業（西部建設事務所）

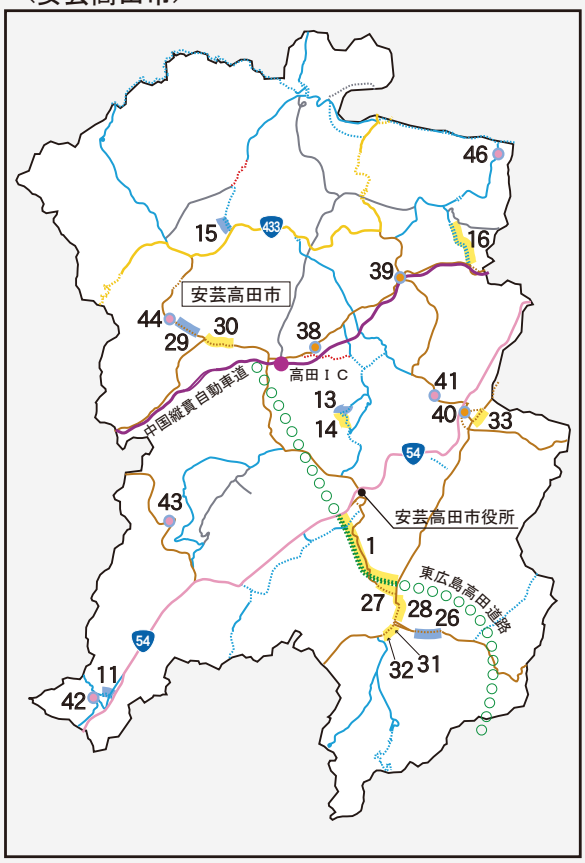
区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	地域高規格道路		1	(主)吉田豊栄線	向原吉田道路			●
	一般国道		2	国道487号	小用BP	●		
			3		中郷			●
	県道	都市内道路	4	(主)矢野安浦線	阿戸別交差点他	●		
			5		川角	●		
			6		熊野バイパス			●
			7	(一)広島海田線	広島海田線	●		
			8	(一)矢野海田線	西明神町～寿町	●		
			9		曙町～寺迫			●
			10	(一)瀬野呉線	下深原～上深原	●		
		地域幹線道路	11	(主)千代田八千代線	上根	●		
			12	(主)高田沖美江田島線	高祖	●		
			13	(一)原田吉田線	印内～山部	●		
			14		印内～山部			●
			15	(一)中北川根線	北	●		
			16	(一)船木上福田線	下福田			●
			17	(一)大君深江線	深江新開	●		
			18	(一)秋月飛渡瀬線	江南			●
			19	(一)坂小屋浦線	平成ヶ浜～森浜			●
	街路		20	(都)青崎池尻線	浜田仁保線	●		
			21	(都)東部連立	JR山陽本線・呉線			●
			22		JR山陽本線・呉線			●
			23	(都)坂中央線	坂小屋浦線	●		
	交通安全事業		24	国道487号	大君	●		
			25		鹿川			●
			26	(主)吉田豊栄線	向原町坂	●		
			27		向原町戸島			●
			28		向原町戸島2			●
			29	(主)吉田邑南線	美土里町下郷	●		
			30		美土里町横田			●
			31	(主)広島三次線	向原町坂			●
			32		向原町坂			●
			33		甲田町高田原			●
			34	(主)江田島大柿線	飛渡瀬			●
			35	(主)東海田広島線	畝	●		
			36	(一)鷲部小用線	小用	●		
			37	(一)瀬野呉線	新宮	●		
補修系	耐震補強		38	(主)三次美土里線	深渡大橋	●		
			39		表郷橋	●		
			40	(主)世羅甲田線	智徳橋	●		
	法面災害防除		41	(主)甲田作木線	上甲立(1箇所)	●		
			42	(主)浜田八重可部線	向山(1箇所)	●		
			43		土師(3箇所)	●		
			44	(主)吉田邑南線	上横田～北(3箇所)	●		
			45	(主)高田沖美江田島線	高田(1箇所)	●		
			46	(一)北船木線	船木(1箇所)	●		

事業箇所図

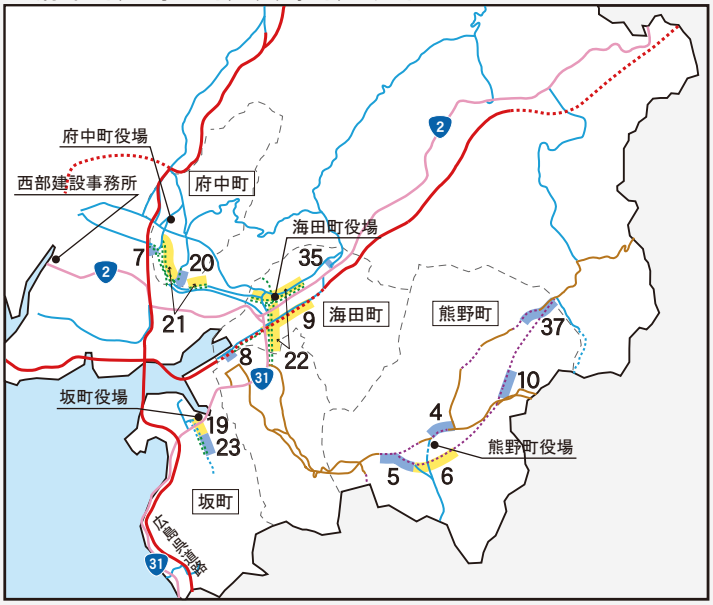
位置図



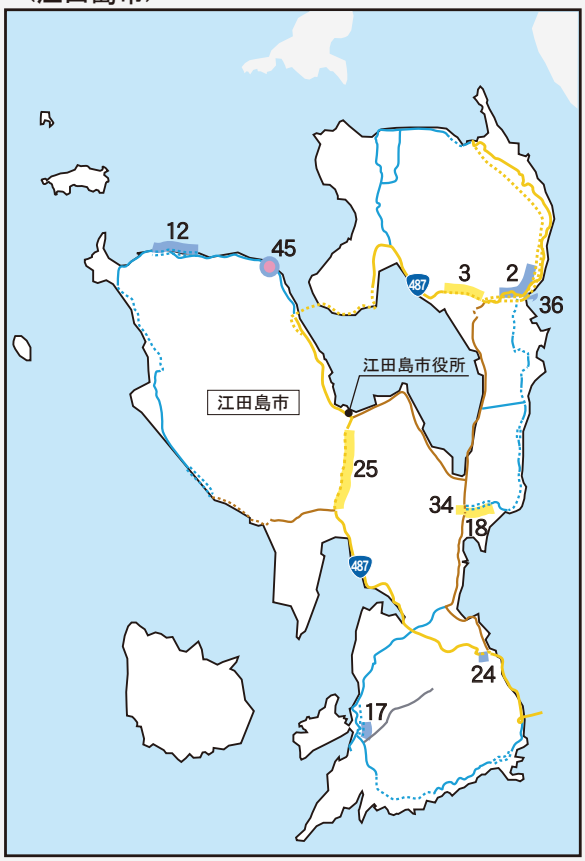
〈安芸高田市〉



〈府中町，海田町，熊野町，坂町〉



〈江田島市〉



事業区分（H28～H32）	
完成	
継続（部分完成）	
継続	

事業区分		
補修系	耐震補強	
	法面災害防除	

路線凡例					
道路区分			事業完区間	残事業区間 事業中	残事業区間 未着手
高規格幹線道路					
地域高規格道路	県管理以外				
	県管理国道				
	県道				
一般国道	県管理以外				
	県管理国道	2次改築			
		1次改築			
県道	幹線道路				
		都市内区間			
	地域幹線道路				
街路区間			—		
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）					

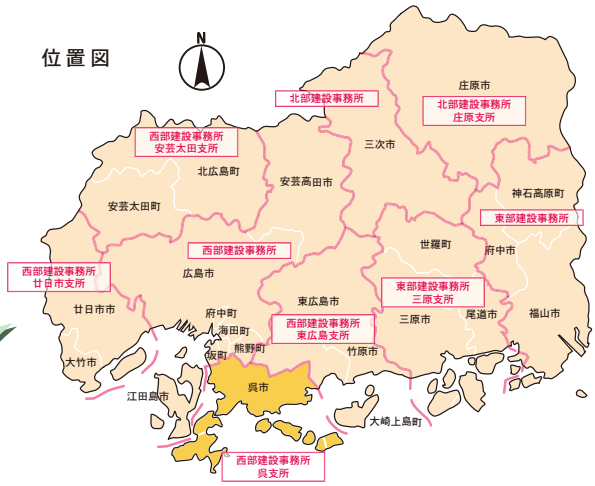
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は◯◯ 印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

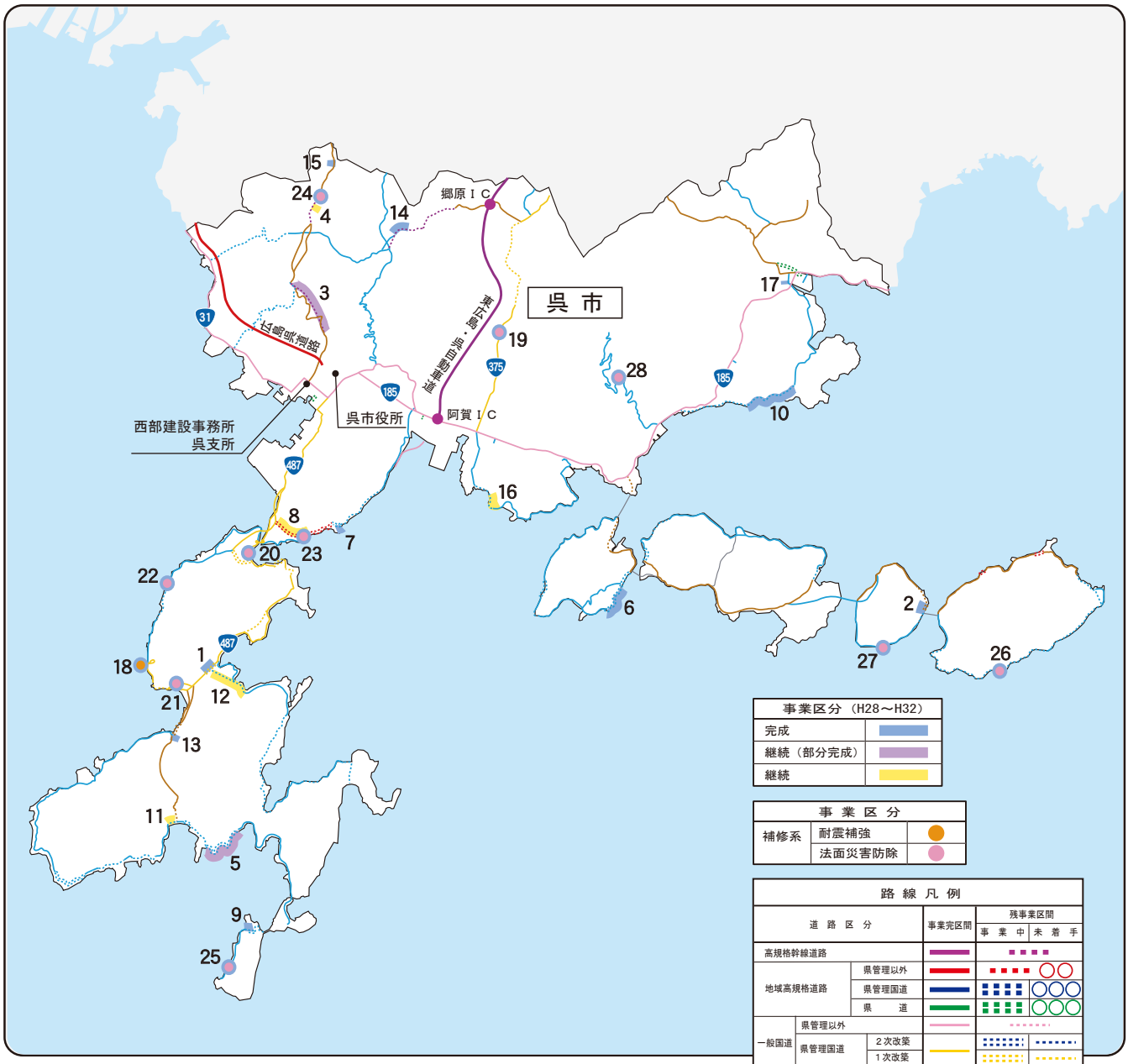
■ 県事業（西部建設事務所　呉支所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道487号	先奥	●		
	県道	幹線道路	2	(一)豊島線	小野浦	●		
		都市内道路	3	(主)呉平谷線	上二河～此原		●	
			4		本庄(1)			●
		地域幹線道路	5	(主)音戸倉橋線	井目木		●	
			6	(主)下蒲刈川尻線	大地蔵	●		
			7	(主)呉環状線	阿賀南	●		
			8		警固屋			●
			9	(一)宮ノ口瀬戸線	家ノ元	●		
			10	(一)川尻安浦線	塩谷	●		
			11	(一)倉橋大向釣士田港線	本浦			●
			12	(一)中大迫清田線	先奥			●
	交通安全事業		13	(主)音戸倉橋線	宇和木	●		
			14	(主)呉環状線	郷原～苗代	●		
			15	(主)呉平谷線	押込	●		
			16	(一)広仁方停車場線	広長浜～広小坪			●
			17	(一)川尻安浦線	安浦中央	●		
補修系	耐震補強		18	国道487号	早瀬大橋	●		
	法面災害防除		19	国道375号	広石内(1箇所)	●		
			20	国道487号	音戸(1箇所)	●		
			21		藤脇(2箇所)	●		
			22	(主)音戸倉橋線	渡子～田原(4箇所)	●		
			23	(主)呉環状線	阿賀南～警固屋(2箇所)	●		
			24	(主)呉平谷線	焼山(2箇所)	●		
			25	(一)宮ノ口瀬戸線	宮ノ口(1箇所)	●		
			26	(一)大崎下島循環線	沖友工区(2箇所)	●		
			27	(一)豊島線	豊島(1箇所)	●		
			28	(一)野呂山公園線	川尻(1箇所)	●		

位置図



事業箇所図



事業区分（H28～H32）	
完成	
継続（部分完成）	
継続	

事業区分		
補修系	耐震補強	
	法面災害防除	

路線凡例

道路区分			事業完区間	残事業区間 事業中	残事業区間 未着手
高規格幹線道路					
地域高規格道路	県管理以外				
	県管理国道				
	県道				
一般国道	県管理以外				
	県管理国道	2次改築			
		1次改築			
県道	幹線道路				
		都市内区間			
	地域幹線道路				
街路区間			―		
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）					

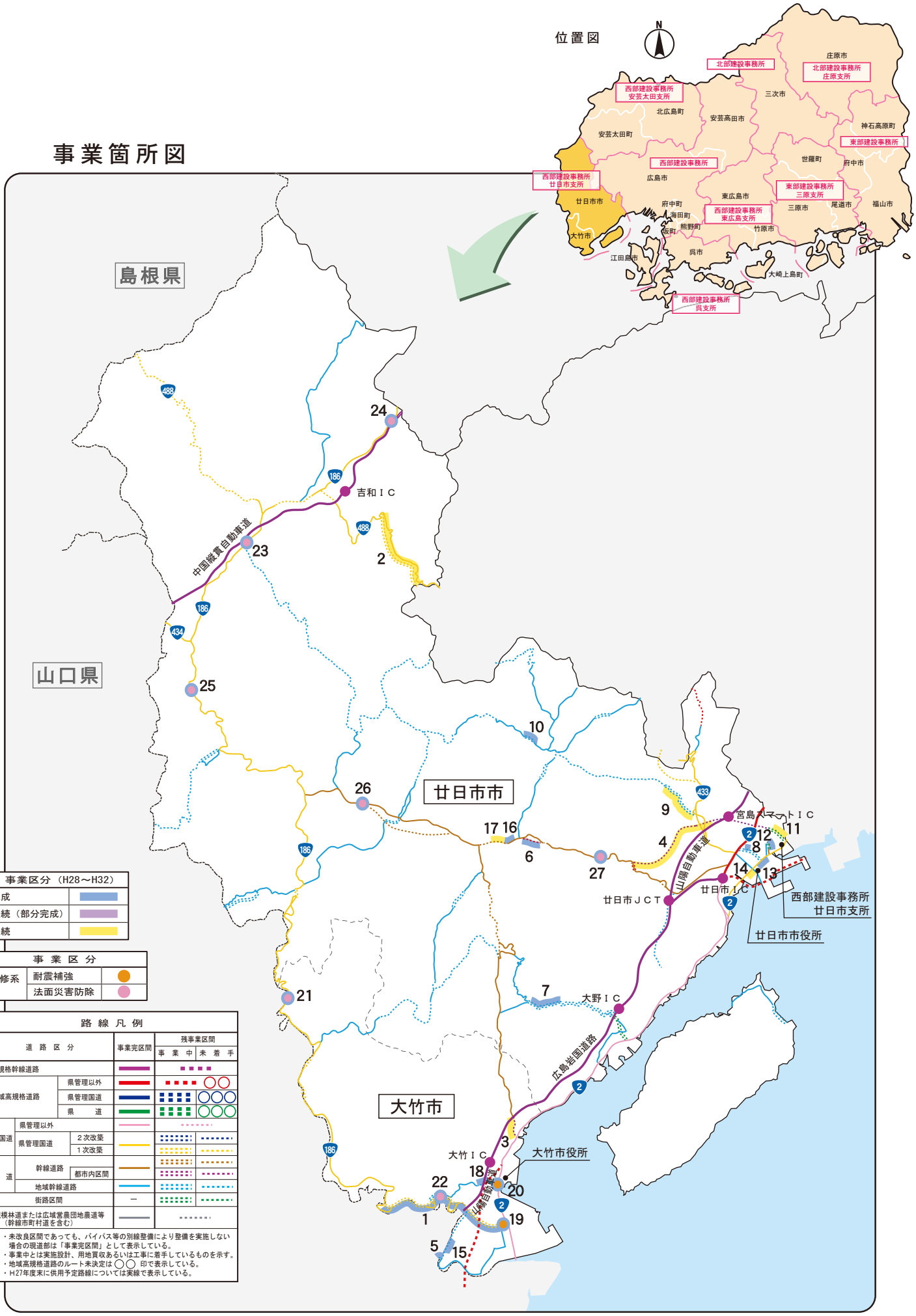
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は ◯◯ 印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

■ 県事業（西部建設事務所　廿日市支所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道186号	御園BP	●		
			2	国道488号	東山バイパス			●
	県道	都市内道路	3	(主)大竹湯来線	玖波			●
			4	(一)廿日市環状線	宮内～上平良			●
		地域幹線道路	5	(主)岩国大竹線	木野	●		
			6	(主)廿日市佐伯線	峠	●		
			7	(一)栗谷大野線	毛保	●		
			8	(一)虫道廿日市線	平良	●		
			9		原			●
			10		吉末	●		
	街路		11	(都)佐方線	廿日市環状線			●
			12	(都)廿日市駅通線(2工区)	廿日市停車場線	●		
	交通安全事業		13	国道2号	駅前地区	●		
			14		藤掛陸橋～宮内別れ			●
			15	(主)岩国大竹線	木野	●		
			16	(主)廿日市佐伯線	友田友和小学校前	●		
			17		河津原　岩組			●
			18	(一)乙瀬小方線	御園	●		
補修系	耐震補強		19	国道186号	翠橋	●		
			20	(一)乙瀬小方線	新町陸橋	●		
	法面災害防除		21	国道186号	大栗林(3箇所)	●		
			22		穂仁原～防鹿(3箇所)	●		
			23		上吉和(3箇所)	●		
			24		下吉和(2箇所)	●		
			25		飯山～栗栖(21箇所)	●		
			26	(主)廿日市佐伯線	津田(1箇所)	●		
			27		宮内(1箇所)	●		

事業箇所図

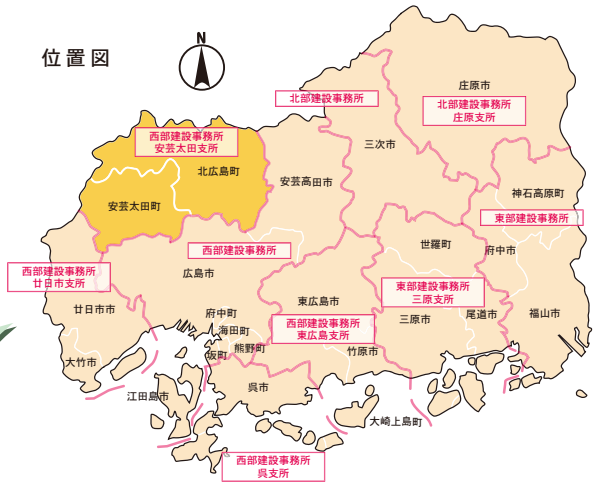

位置図
N
北部建設事務所
北部建設事務所庄原支所
西部建設事務所安芸太田支所
西部建設事務所
西部建設事務所廿日市支所
東部建設事務所
東部建設事務所三原支所
西部建設事務所東広島支所
西部建設事務所呉支所
庄原市
三次市
北広島町
安芸高田市
神石高原町
安芸太田町
世羅町
府中市
広島市
廿日市市
東広島市
府中町
海田町
熊野町
坂町
竹原市
三原市
尾道市
福山市
大竹市
呉市
江田島市
大崎上島町
島根県
山口県
廿日市市
大竹市
中国縦貫自動車道
山陽自動車道
広島岩国道路
吉和ＩＣ
宮島スマートＩＣ
廿日市ＩＣ
廿日市ＪＣＴ
大野ＩＣ
大竹ＩＣ
西部建設事務所廿日市支所
廿日市市役所
大竹市役所
488
186
434
433
2
事業区分（H28～H32）
完成
継続（部分完成）
継続
事業区分
補修系
耐震補強
法面災害防除
路線凡例
道路区分
事業完区間
残事業区間
事業中
未着手
高規格幹線道路
地域高規格道路
県管理以外
県管理国道
県道
一般国道
県管理以外
県管理国道
２次改築
１次改築
県道
幹線道路
都市内区間
地域幹線道路
街路区間
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は◯◯印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

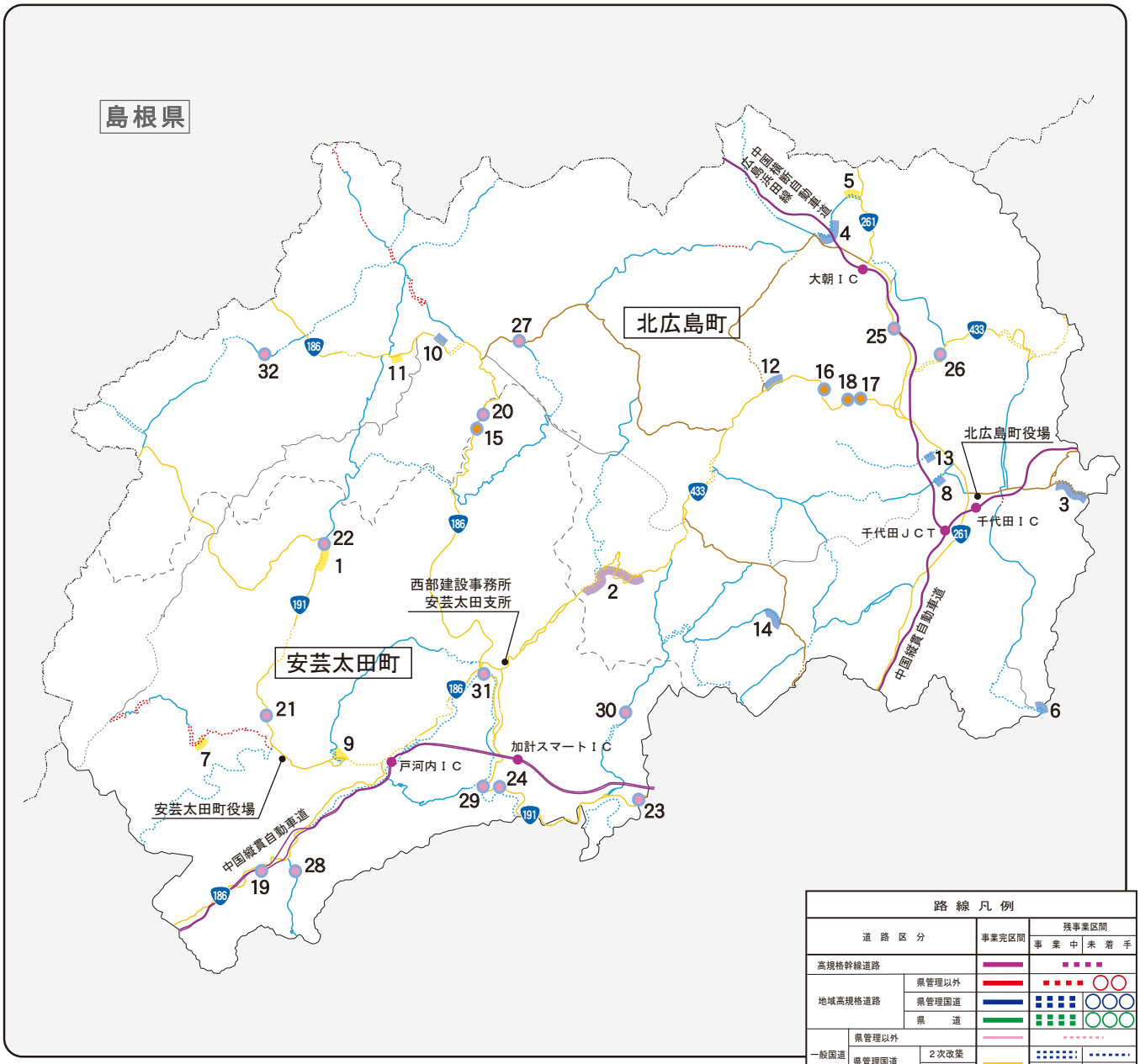
■ 県事業（西部建設事務所　安芸太田支所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道191号	松原			●
			2	国道433号	豊平BP		●	
	県道	幹線道路	3	(主)浜田八重可部線	川井	●		
		地域幹線道路	4	(主)芸北大朝線	大朝	●		
			5		鳴滝			●
			6	(主)千代田八千代線	畑	●		
			7	(一)恐羅漢公園線	那須			●
			8	(一)都志見千代田線	今田	●		
			9	(一)弁財天加計線	土居			●
	交通安全事業		10	国道186号	細見	●		
			11		川小田			●
			12	国道433号	志路原2	●		
			13	(一)下石八重線	有間	●		
			14	(一)七曲千代田線	阿坂	●		
補修系	耐震補強		15	国道186号	新王泊橋	●		
			16	国道433号	新海応寺橋	●		
			17		舞綱大橋	●		
			18		下石大橋	●		
	法面災害防除		19	国道186号	中筒賀～上筒賀(2箇所)	●		
			20		細見(9箇所)	●		
			21	国道191号	板ヶ谷～遊谷(8箇所)	●		
			22		松原(1箇所)	●		
			23		穴(1箇所)	●		
			24		坪野(7箇所)	●		
			25	国道261号	中山～新庄(2箇所)	●		
			26	国道433号	川戸(1箇所)	●		
			27	(主)安佐豊平芸北線	小原(1箇所)	●		
			28	(主)五日市筒賀線	上筒賀(2箇所)	●		
			29	(一)上筒賀津浪線	田之尻(1箇所)	●		
			30	(一)澄合豊平線	穴(1箇所)	●		
			31	(一)中筒賀下線	加計(1箇所)	●		
			32	(一)八幡雲耕線	雲耕(1箇所)	●		

位置図



事業箇所図



路線凡例				
道路区分			事業完区間	残事業区間 事業中	残事業区間 未着手
高規格幹線道路					
地域高規格道路	県管理以外				
	県管理国道				
	県道				
一般国道	県管理以外				
	県管理国道	2次改築			
		1次改築			
県道	幹線道路				
		都市内区間			
	地域幹線道路				
街路区間			―		
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）					

注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は◯◯印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

事業区分（H28～H32）	
完成	
継続（部分完成）	
継続	

事業区分		
補修系	耐震補強	●
	法面災害防除	●

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

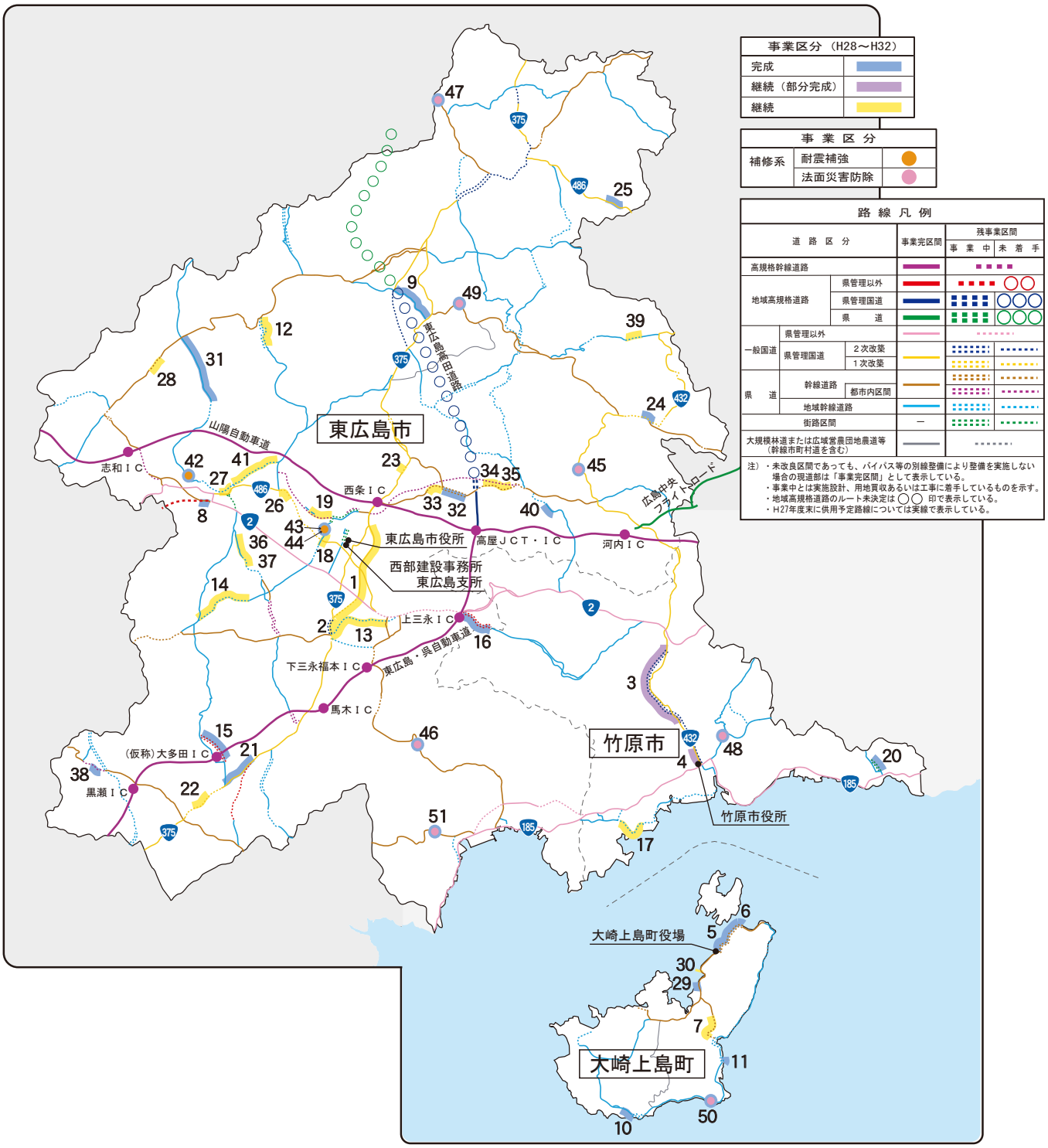
■ 県事業（西部建設事務所　東広島支所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道375号	御薗宇バイパス			●
			2		御薗宇			●
			3	国道432号	竹原BP		●	
			4		新開拡幅		●	
	県道	幹線道路	5	(主)大崎上島循環線	盛谷	●		
			6		垂水	●		
			7	(一)大田木ノ江線	古本～天満			●
		都市内道路	8	(主)志和インター線	八本松	●		
		地域幹線道路	9	(主)瀬野川福富本郷線	上戸野	●		
			10	(主)大崎上島循環線	明石	●		
			11		天満	●		
			12	(主)東広島向原線	内			●
			13	(一)下三永吉川線	下三永			●
			14	(一)吉川西条線	原			●
			15	(一)吉川大多田線	大多田	●		
			16	(一)上三永竹原線	上三永	●		
			17	(一)竹原吉名線	吉名			●
	街路		18	(都)上寺家下見線	吉川西条線			●
			19	(都)吉行飯田線(4工区)	飯田吉行線			●
			20	(都)忠海中央線	東広島本郷忠海線	●		
	交通安全事業		21	国道375号	黒瀬町乃美尾	●		
			22		黒瀬町中黒瀬			●
			23		高屋町稲木			●
			24	国道432号	河内町中河内	●		
			25	国道486号	豊栄町安宿	●		
			26		八本松町米満			●
			27		八本松町飯田			●
			28	(主)瀬野川福富本郷線	志和町志和西			●
			29	(主)大崎上島循環線	大田	●		
			30		矢弓			●
			31	(主)東広島白木線	志和町志和東	●		
			32	(主)東広島本郷忠海線	高屋町中島	●		
			33		高屋町中島			●
			34		高屋町高屋東			●
			35		高屋町高屋東			●
			36	(主)馬木八本松線	八本松町原			●
			37		八本松町原			●
			38	(主)矢野安浦線	黒瀬町津江	●		
			39	(一)小田白市線	河内町小田			●
			40	(一)造賀田万里線	高屋町小谷	●		
			41	(一)造賀八本松線	八本松町飯田			●
補修系	耐震補強		42	(主)東広島白木線	切田跨線橋	●		
			43	(一)吉川西条線	諏訪面跨線橋	●		
			44		上寺家高架橋	●		
	法面災害防除		45	国道432号	入野～上河内(8箇所)	●		
			46	(主)安芸津下三永線	三津～蚊無(3箇所)	●		
			47	(主)吉田豊栄線	別府(1箇所)	●		
			48	(主)三原竹原線	小梨～本町(3箇所)	●		
			49	(主)瀬野川福富本郷線	戸野(1箇所)	●		
			50	(主)大崎上島循環線	沖浦(1箇所)	●		
			51	(一)内海三津線	風早(1箇所)	●		

位置図

N
北部建設事務所
北部建設事務所庄原支所
庄原市
三次市
西部建設事務所安芸太田支所
北広島町
安芸高田市
神石高原町
安芸太田町
東部建設事務所
世羅町
府中市
西部建設事務所
西部建設事務所廿日市支所
広島市
東広島市
東部建設事務所三原支所
廿日市市
府中町
海田町
西部建設事務所東広島支所
三原市
尾道市
福山市
熊野町
竹原市
大竹市
呉市
江田島市
大崎上島町
西部建設事務所呉支所

事業箇所図

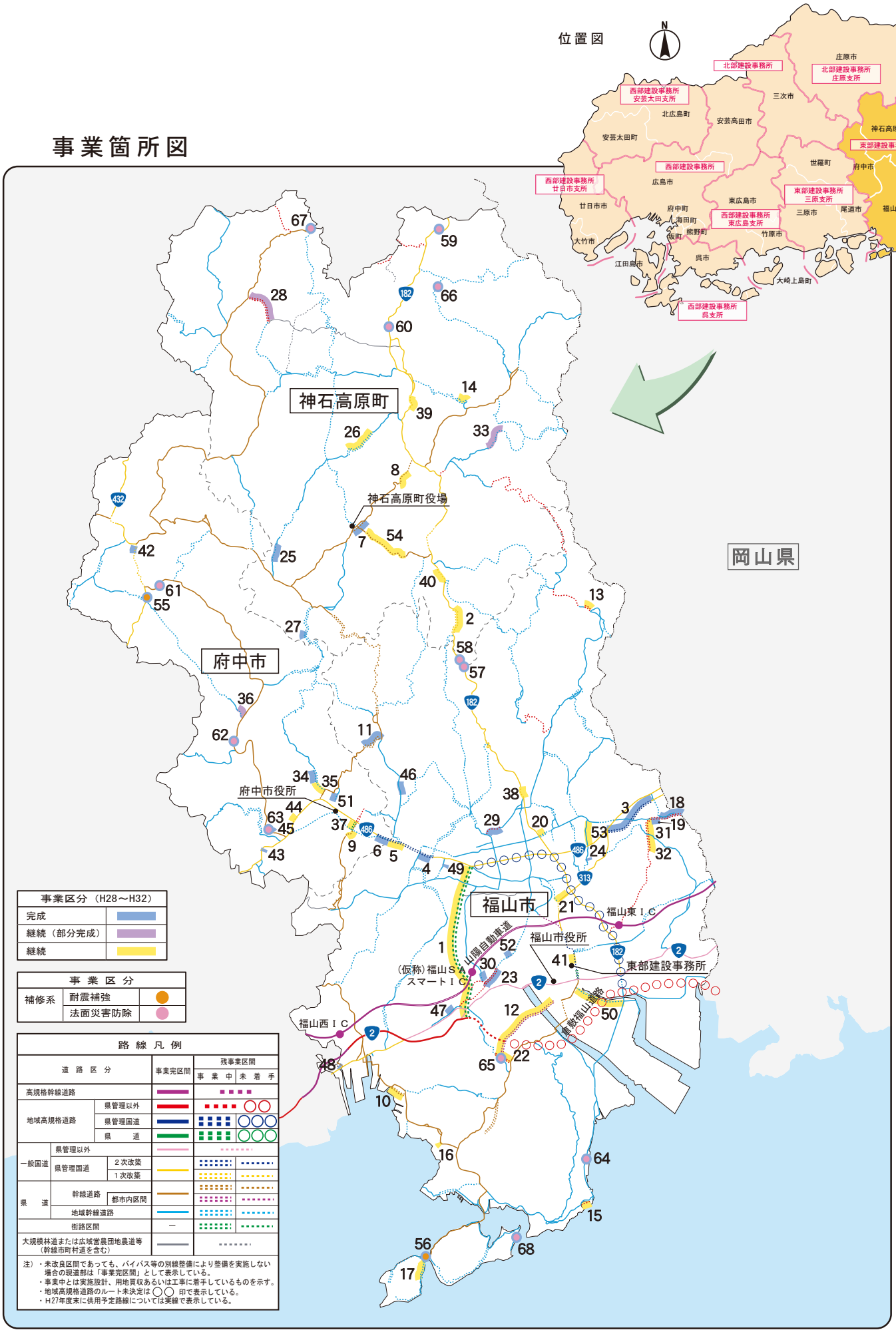

事業区分（H28～H32）
完成
継続（部分完成）
継続
事業区分
補修系
耐震補強
法面災害防除
路線凡例
道路区分
事業完区間
残事業区間
事業中
未着手
高規格幹線道路
地域高規格道路
県管理以外
県管理国道
県道
一般国道
県管理以外
県管理国道
2次改築
1次改築
県道
幹線道路
都市内区間
地域幹線道路
街路区間
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は ◯◯ 印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。
東広島市
竹原市
大崎上島町
山陽自動車道
東広島・呉自動車道
東広島呉道路
広島中央フライトロード
志和ＩＣ
西条ＩＣ
高屋ＪＣＴ・ＩＣ
河内ＩＣ
上三永ＩＣ
下三永福本ＩＣ
馬木ＩＣ
(仮称)大多田ＩＣ
黒瀬ＩＣ
東広島市役所
西部建設事務所東広島支所
竹原市役所
大崎上島町役場

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

■ 県事業（東部建設事務所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	地域高規格道路		1	(一)津之郷山守線	福山西環状線			●
	一般国道		2	国道182号	坂瀬川			●
			3	国道313号	神辺BP	●		
			4	国道486号	戸手(新市府中拡幅)	●		
			5		新市(新市府中拡幅)			●
			6		中須(新市府中拡幅)	●		
	県道	幹線道路	7	(主)吉舎油木線	小畠～下組	●		
			8		長者原			●
			9	(主)府中松永線	高木			●
			10	(主)鞆松永線	慶応浜			●
			11	(一)金丸府中線	金丸	●		
		都市内道路	12	(主)福山沼隈線	草戸～熊野			●
		地域幹線道路	13	(主)加茂油木線	東免2			●
			14	(主)芳井油木線	上豊松			●
			15	(主)鞆松永線	鞆			●
			16		通畑			●
			17	(一)横島循環線	向			●
			18	(一)下御領井原線	八尋	●		
			19		八尋	●		
			20	(一)下御領新市線	道上			●
			21	(一)加茂福山線	横尾			●
			22	(一)熊野瀬戸線	熊野			●
			23	(一)御幸松永線	津之郷	●		
			24	(一)三谷神辺線	掛之橋	●		
			25	(一)三和油木線	高蓋	●		
			26		安田			●
			27	(一)小畠荒谷線	猿ヶ馬場	●		
			28	(一)草木高光線	高光		●	
			29	(一)中野駅家線	法成寺	●		
			30	(一)津之郷山守線	津之郷(IC)	●		
			31	(一)福山上御領線	八尋			●
			32		下竹田			●
			33	(一)木割谷小吹線	近田		●	
			34	(一)木野山府中線	川上	●		
			35		出口			●
			36	(一)矢多田阿字線	阿字		●	
	街路		37	(都)栗柄広谷線	府中松永線			●
	交通安全事業		38	国道182号	下加茂			●
			39		油木～安田			●
			40		井関			●
			41	国道313号	三吉～奈良津			●
			42	国道432号	上下町植木	●		
			43	国道486号	篠根	●		
			44		父石～目崎			●
			45	(主)府中上下線	篠根	●		
			46	(主)新市七曲西城線	宮内	●		
			47	(主)福山尾道線	赤坂町	●		
			48		高西	●		
			49	(一)福田戸手線	福田	●		
			50	(一)福山港松浜線	東川口～新浜			●
			51	(一)府中停車場線	元町	●		
			52	(一)御幸松永線	山手町	●		
			53	(一)三谷神辺線	神辺町湯野			●
			54	(一)帝釈峡井関線	小畠～井関			●
補修系	耐震補強		55	国道432号	矢多田橋	●		
			56	(主)沼隈横田港線	睦橋	●		
	法面災害防除		57	国道182号	坂瀬川～百谷(9箇所)	●		
			58		坂瀬川～百谷(1箇所)	●		
			59		新免(2箇所)	●		
			60		油木(3箇所)	●		
			61	(主)府中上下線	井永(1箇所)	●		
			62		久佐(1箇所)	●		
			63		河面(2箇所)	●		
			64	(主)福山鞆線	鞆(1箇所)	●		
			65	(一)熊野瀬戸線	熊野(1箇所)	●		
			66	(一)前原谷仙養線	笹尾工区(2箇所)	●		
			67	(一)帝釈峡井関線	永野工区(5箇所)	●		
			68	(一)内浦箱崎港線	馬場崎(1箇所)	●		

事業箇所図

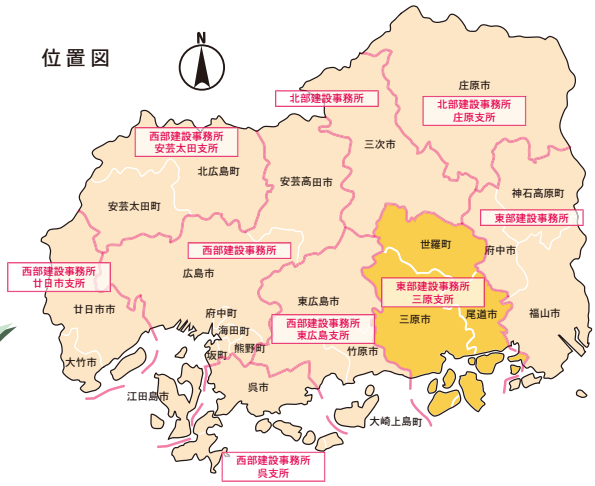

位置図
N
北部建設事務所
庄原市
北部建設事務所 庄原支所
西部建設事務所 安芸太田支所
三次市
北広島町
安芸高田市
神石高原町
安芸太田町
東部建設事務所
西部建設事務所
世羅町
府中市
西部建設事務所 廿日市支所
広島市
東部建設事務所 三原支所
廿日市市
東広島市
府中町
海田町
西部建設事務所 東広島支所
三原市
尾道市
福山市
大竹市
仮町
熊野町
竹原市
江田島市
呉市
大崎上島町
西部建設事務所 呉支所
神石高原町
神石高原町役場
府中市
府中市役所
福山市
福山市役所
福山東ＩＣ
東部建設事務所
山陽自動車道
(仮称)福山ＳＡ スマートＩＣ
福山西ＩＣ
鷹敷福山道路
岡山県
事業区分（H28～H32）
完成
継続（部分完成）
継続
事業区分
補修系
耐震補強
法面災害防除
路線凡例
道路区分
事業完区間
残事業区間
事業中
未着手
高規格幹線道路
地域高規格道路
県管理以外
県管理国道
県道
一般国道
県管理以外
県管理国道
2次改築
1次改築
県道
幹線道路
都市内区間
地域幹線道路
街路区間
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は ○○ 印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

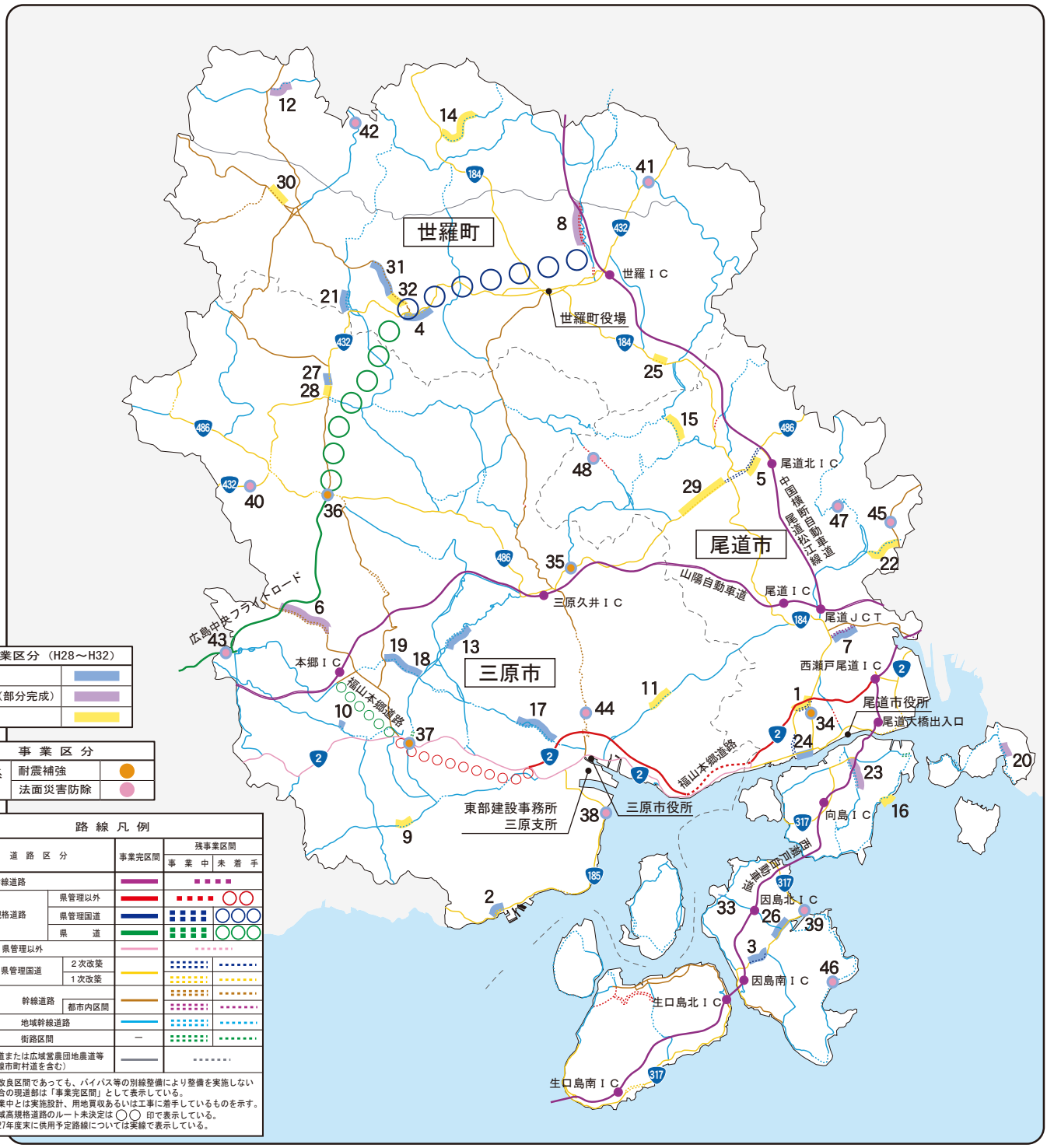
■ 県事業（東部建設事務所　三原支所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32） 完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道184号	栗原北			●
			2	国道185号	幸崎能地	●		
			3	国道317号	青影バイパス	●		
			4	国道432号	賀茂バイパス	●		
			5	国道486号	貝ヶ原			●
	県道	幹線道路	6	(主)瀬野川福富本郷線	船木		●	
		都市内道路	7	(主)福山尾道線	美ノ郷	●		
		地域幹線道路	8	(主)甲山甲奴上市線	赤屋		●	
			9	(主)三原竹原線	小泉町池ノ内			●
			10	(主)東広島本郷忠海線	下北方	●		
			11	(主)尾道三原線	中之町			●
			12	(主)府中世羅三和線	論田		●	
			13	(主)本郷久井線	高坂町許山	●		
			14	(一)宇賀安田線	安田			●
			15	(一)御調久井線	綾目			●
			16	(一)向島循環線	大町			●
			17	(一)三原本郷線	大西	●		
			18		高坂町	●		
			19		本郷	●		
			20	(一)草深古市松永線	灘組		●	
			21	(一)津口国兼線	津口～賀茂	●		
			22	(一)尾道新市線	梶山田～小原			●
			23	(一)立花池田線	江郷		●	
	交通安全事業		24	国道2号	西御所～新浜	●		
			25	国道184号	宇津戸			●
			26	国道317号	因島中庄町	●		
			27	国道432号	萩原	●		
			28		下徳良			●
			29	国道486号	大田～丸河南			●
			30	(主)吉舎豊栄線	小国			●
			31	(主)世羅甲田線	賀茂～青水	●		
			32		賀茂			●
			33	(一)西浦三庄田熊線	因島重井町	●		
補修系	耐震補強		34	国道184号	新栗原橋	●		
			35	国道486号	沖田橋	●		
			36	(主)本郷大和線	下中橋	●		
			37	(一)小泉本郷線	小原大橋	●		
	法面災害防除		38	国道185号	貝野(1箇所)	●		
			39	国道317号	大浜(1箇所)	●		
			40	国道432号	箱川～大具(3箇所)	●		
			41		伊尾(1箇所)	●		
			42	(主)吉舎豊栄線	山中福田(2箇所)	●		
			43	(主)広島空港線	善入寺(3箇所)	●		
			44	(主)三原東城線	八坂(2箇所)	●		
			45	(主)府中松永線	小原(1箇所)	●		
			46	(一)西浦三庄田熊線	三庄(1箇所)	●		
			47	(一)下川辺尾道線	梶山田(1箇所)	●		
			48	(一)吉田丸門田線	野間(1箇所)	●		

位置図



事業箇所図



事業区分（H28～H32）	
完成	
継続（部分完成）	
継続	

事業区分		
補修系	耐震補強	
	法面災害防除	

路線凡例

道路区分			事業完区間	残事業区間 事業中	残事業区間 未着手
高規格幹線道路					
地域高規格道路	県管理以外				○○
	県管理国道				○○○
	県道				○○○
一般国道	県管理以外				
	県管理国道	2次改築			
		1次改築			
県道	幹線道路				
		都市内区間			
	地域幹線道路				
街路区間			―		
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）					

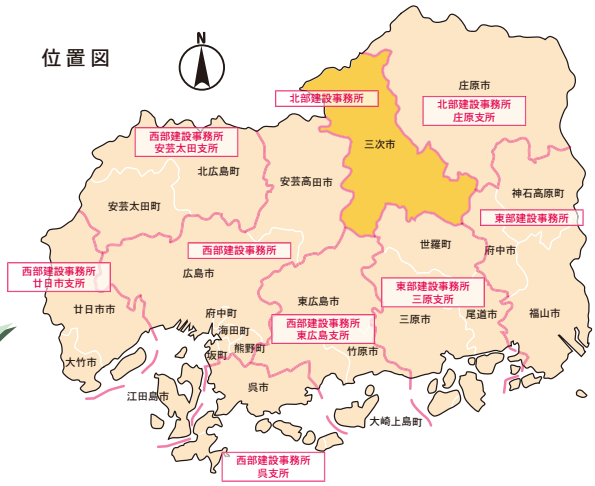
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は ◯◯ 印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

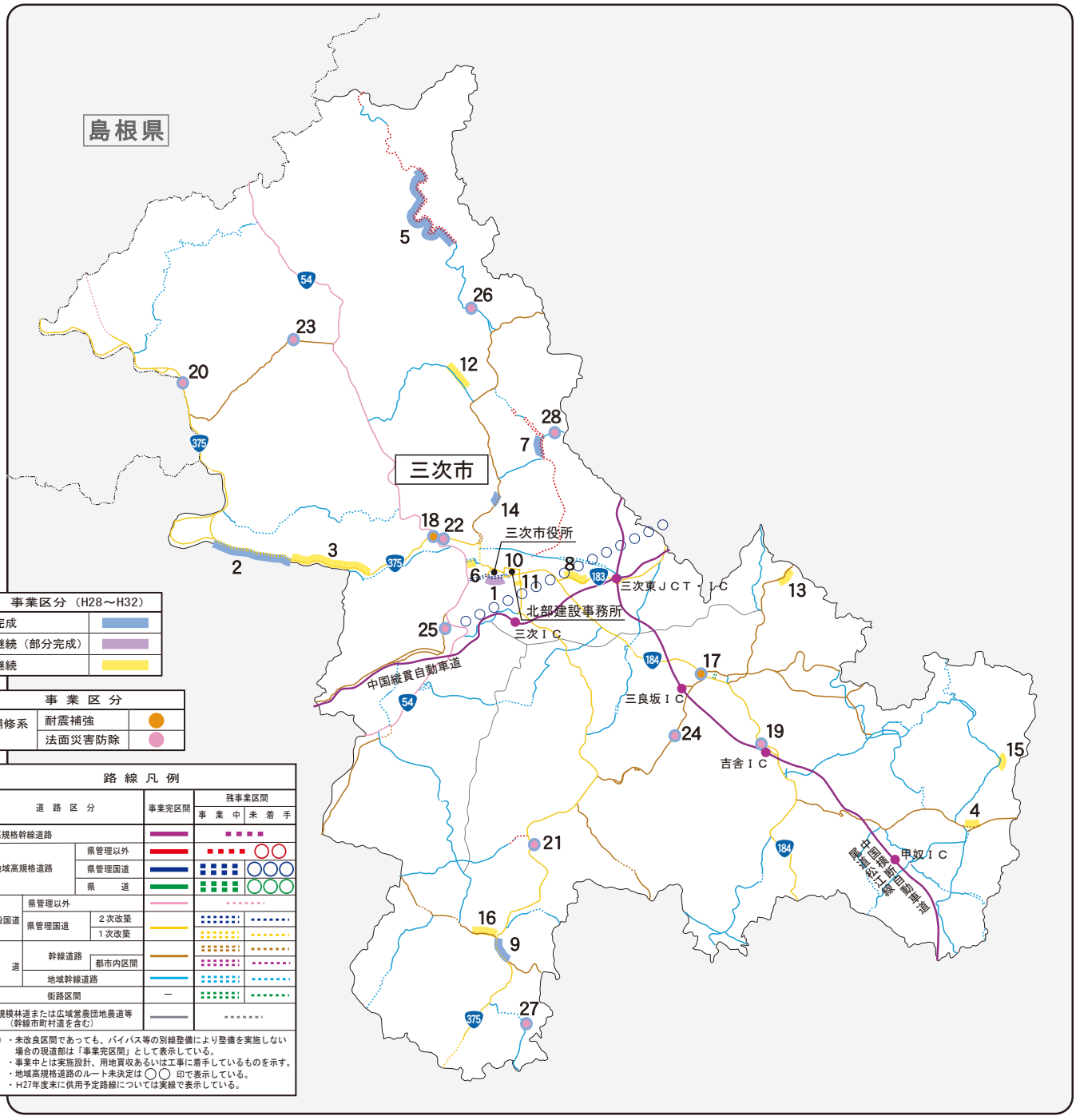
■ 県事業（北部建設事務所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32）		
						完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道183号	十日市		●	
			2	国道375号	唐香	●		
			3		日下～引宇根			●
	県道	幹線道路	4	(主)吉舎油木線	本郷			●
		地域幹線道路	5	(一)下門田泉吉田線	櫃田	●		
			6	(一)三次江津線	三次町～粟屋町			●
			7	(一)新市三次線	西河内町小谷	●		
	交通安全事業		8	国道183号	四拾貫			●
			9	国道375号	敷名	●		
			10		十日市中	●		
			11		十日市南2			●
			12	(主)庄原作木線	石原			●
			13	(主)三次庄原線	光清			●
			14	(主)三次高野線	西河内町	●		
			15	(主)甲山甲奴上市線	福田			●
			16	(主)世羅甲田線	三和町上板木			●
補修系	耐震補強		17	国道184号	十王堂跨線橋	●		
			18	国道375号	日山橋	●		
	法面災害防除		19	国道184号	海田原(1箇所)	●		
			20	国道375号	下作木～香淀(8箇所)	●		
			21		有原(5箇所)	●		
			22		山家(1箇所)	●		
			23	(主)庄原作木線	上作木(1箇所)	●		
			24	(主)三次庄原線	長田(1箇所)	●		
			25	(主)三次美土里線	城山(1箇所)	●		
			26	(一)下門田泉吉田線	宮東(1箇所)	●		
			27	(一)三和大和線	上壱(2箇所)	●		
			28	(一)新市三次線	東入君(2箇所)	●		

位置図



事業箇所図



事業区分（H28～H32）	
完成	
継続（部分完成）	
継続	

事業区分		
補修系	耐震補強	
	法面災害防除	

路線凡例

道路区分			事業完区間	残事業区間 事業中	残事業区間 未着手
高規格幹線道路					
地域高規格道路	県管理以外				○○
	県管理国道				○○○
	県道				○○○
一般国道	県管理以外				
	県管理国道	2次改築			
		1次改築			
県道	幹線道路				
		都市内区間			
	地域幹線道路				
街路区間			－		
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）					

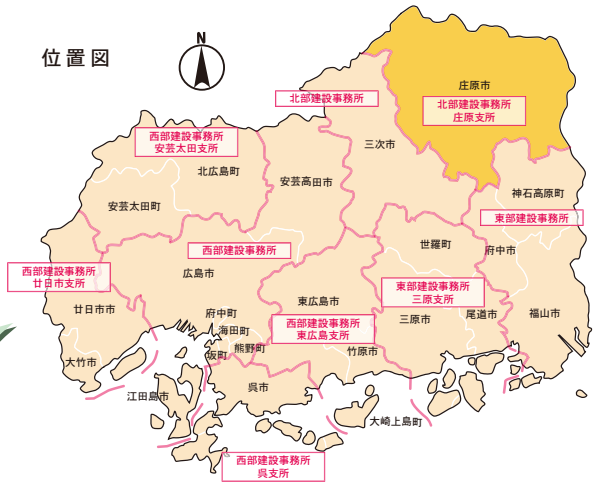
注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は○○印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

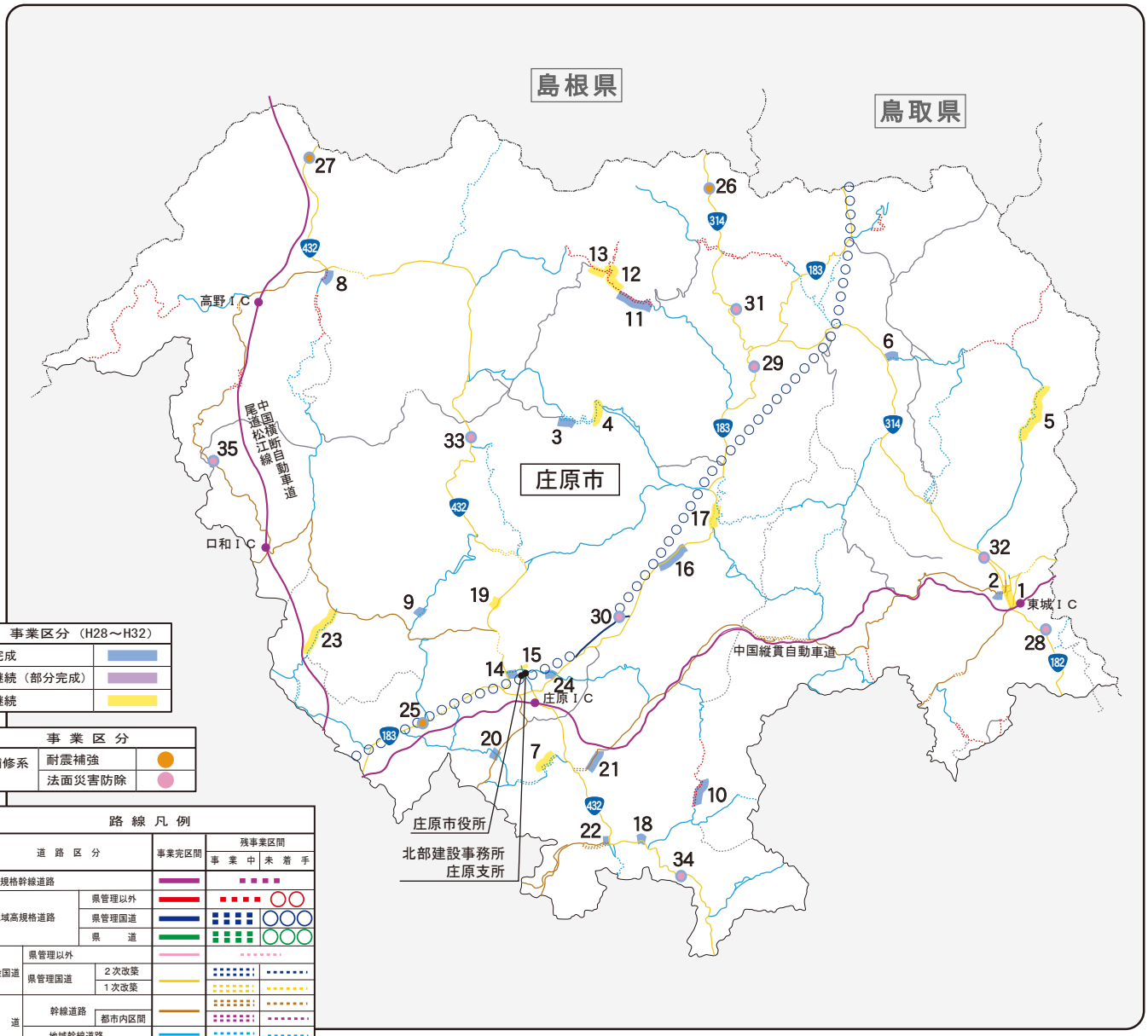
■ 県事業（北部建設事務所　庄原支所）

区分	道路区分		番号	路線名	区間	実施計画（H28～H32）		
						完成	継続（部分完成）	継続
改築系	一般国道		1	国道314号	東城BP2工区			●
	県道	幹線道路	2	(主)庄原東城線	下川西	●		
		地域幹線道路	3	(主)西城比和線	坊地	●		
			4		黒谷上			●
			5	(主)足立東城線	長者山			●
			6	(一)下千鳥小奴可停車場線	小奴可	●		
			7	(一)実留春田線	野本工区			●
			8	(一)新市三次線	南下	●		
			9	(一)川北七塚線	川西	●		
			10	(一)中領家庄原線	五箇	●		
			11	(一)比婆山公園線	上尺田	●		
			12		上尺田～上			●
			13	(一)比婆山公園森脇線	上尺田			●
	街路		14	(都)高小路線	中領家庄原線	●		
			15	(都)駅前新庄線	庄原停車場線			●
	交通安全事業		16	国道183号	西城町平子	●		
			17		西城町奥名			●
			18	国道432号	総領町下領家	●		
			19		川北町八幡			●
			20	(主)三次庄原線	一木町	●		
			21	(主)庄原東城線	峰田町上赤川	●		
			22	(主)三良坂総領線	総領町稲草	●		
			23	(一)新市三次線	口和町永田			●
			24	(一)中領家庄原線	新庄町～東本町	●		
補修系	耐震補強		25	国道183号	鈎橋	●		
			26	国道314号	三井野橋	●		
			27	国道432号	王貫橋	●		
	法面災害防除		28	国道182号	久代(1箇所)	●		
			29	国道183号	熊野～小鳥原(7箇所)	●		
			30	国道183号(高道路)	川西(4箇所)	●		
			31	国道314号	熊野～油木(4箇所)	●		
			32		川西～小奴可(2箇所)	●		
			33	国道432号	川北～森脇(7 箇所)	●		
			34		黒目～峰田(3箇所)	●		
			35	(主)三次高野線	竹地谷(2箇所)	●		

位置図



事業箇所図



事業区分（H28～H32）	
完成	
継続（部分完成）	
継続	

事業区分		
補修系	耐震補強	
	法面災害防除	

路線凡例

道路区分			事業完区間	残事業区間 事業中	残事業区間 未着手
高規格幹線道路					
地域高規格道路	県管理以外				○○
	県管理国道				○○○
	県道				○○○
一般国道	県管理以外				
	県管理国道	2次改築			
		1次改築			
県道	幹線道路				
		都市内区間			
	地域幹線道路				
街路区間			―		
大規模林道または広域営農団地農道等（幹線市町村道を含む）					

注）・未改良区間であっても、バイパス等の別線整備により整備を実施しない場合の現道部は「事業完区間」として表示している。
・事業中とは実施設計、用地買収あるいは工事に着手しているものを示す。
・地域高規格道路のルート未決定は ○○ 印で表示している。
・H27年度末に供用予定路線については実線で表示している。

Ⅳ 事業箇所一覧（H28～H32）

■ 国直轄事業

事業中の箇所

● 改築事業（バイパス整備等）

	路線名	工区名	市町名	開通予定（国交省公表済）	備考
1	中国横断自動車道尾道松江線		世羅町，庄原市		付加車線の整備
2	東広島・呉自動車道		東広島市，呉市		大多田IC（仮称），阿賀IC立体化の整備
3	国道2号	福山道路	福山市		
4		松永道路	福山市	H28開通予定	4車線化
5		木原道路	尾道市，三原市		
6		安芸バイパス	東広島市，広島市		
7		東広島バイパス	広島市，海田町		
8		広島南道路	海田町，広島市		
9		岩国・大竹道路	大竹市		
10		栄橋	大竹市	H28開通予定	
11	国道183号	鍵掛峠道路	庄原市		
12	国道185号	休山改良	呉市	H29開通予定	4車線化
13		安芸津バイパス	東広島市，竹原市		

● 交通安全事業

	路線名	工区名	市町名	完成予定（国交省公表済）	備考
14	国道2号	瀬戸自転車歩行者道整備	福山市	H28完成予定	
15	国道31号	坂歩道整備	坂町		
16		大屋橋東詰交差点改良	呉市		
17	国道54号	八千代自転車歩行者道整備	安芸高田市	H28完成予定	
18		吉田地区自転車歩行者道整備	安芸高田市		
19		下布野歩道整備	三次市		
20	国道185号	小松原歩道整備	東広島市		
21		安芸津歩道整備	東広島市		
22		福田歩道整備	竹原市		
23		忠海自転車歩行者道整備	竹原市		

事業箇所図

今後の道路整備のマスタープランであり具体的な路線のルート，位置等を規定するものではありません。

〈 凡 例 〉			供用済	事 業 中	未 着 手
改築事業（バイパス整備等）	高規格幹線道路				
	地域高規格道路	計画路線			
		候補路線	—	—	
	広域道路	交流促進型			
		地域形成型			—
		検討区間	—	—	
交通安全事業			—	○	—
IC,スマートIC,地域活性化IC，JCT			●	●	—

※沼田スマートI.C，福山SAスマートI.C，大多田I.Cは仮称です。

計画期間内(H28-32) の事業着手を目指す箇所

● 改築事業（バイパス整備等）

次の２箇所について，国へ重点的に働きかけていきます。

	路線名	工区名	市町名	備考
24	国道2号	赤坂バイパス	福山市	4車線化
25		道照交差点	東広島市	

● 交通安全事業

交通安全プログラム等に基づき緊急性の高い箇所について，国へ働きかけていきます。

広島県道路整備計画 2016

平成 28(2016) 年 3 月策定
編集・発行 広島県土木建築局道路企画課
〒730-8511　広島市中区基町 10 番 52 号
TEL：082-513-3891
URL：http://www.pref.hiroshima.lg.jp/